

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
 - ・施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
 - ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

⚠ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

補 足

- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

< 施工の前に >

⚠ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・日よけ・雨よけ以外の目的に本製品を使用しないでください。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・設置場所の確認をしてください。
※施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
※建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
※強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- ・崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取付けてください。
- ・風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
- ・一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認してから施工を行ってください。
- ・外壁についている樋や配管などは避けるか十分に距離をあけて取付けてください。樋や配管を傷つける原因になります。
- ・既設のシャッターボックスのメンテナンススペースが確保できていることを確認した上で施工してください。
確保できない場合、メンテナンスができなくなるおそれがあります。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。



お願い

- ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

< 基礎工事について >

⚠ 注意

- ・基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根部に水抜き穴(φ6)をあけてください。
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。
使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- ・コンクリート強度は18N/mm²以上で施工してください。

お願い

- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。
シミやムラ等の外観不良の原因になります。
- ・確認申請による設置の場合は、設置場所・現地地耐力度・設置条件によって基礎サイズが異なるため、確認して施工してください。

< 施工上のご注意 >

⚠ 注意

- ・アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定個所以外の穴加工はしないでください。
- ・水濡れの原因となりますので、指定の個所にシーリングをしてください。

- ・シリコンシーリング材を使用する場合は、
当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

- ・ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、
下記の推奨締め付けトルクで固定した後、ゆるみがないか確認してください。
製品の強度低下、またはケガのおそれがあります。

※φ4ネジ : 2.0N・m ± 0.2N・m
※M6ボルト : 7.5N・m ± 0.2N・m

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業 (株)	シーラント 72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン (合)	トスシール 380
ダウ・東レ (株)	SE960

※φ5ネジ : 3.0N・m ± 0.2N・m
※M8ボルト : 10.0N・m ± 0.2N・m

お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※作業服および保護具(保護帽、安全带、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- ・取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ・腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。

< 施工の後に >

⚠ 注意

- ・ボルト、ネジの締め忘れがないか確認し、ゆるんでいる場合は締めなおしてください。

お願い

- ・取扱説明書は施主様にお渡しください。

INDEX

表示マーク	3	連棟タイプの施工	35
施工の流れ	3	■連棟の確認事項	36
各部の名称	10	■基礎寸法の確認(連結部)	38
基本タイプの施工	12	1 事前準備	39
■基本の確認事項	12	2 屋根部(1台目)の取付け	40
1 基礎寸法の確認	15	3 前枠(2台目)の取付け	40
2 柱の建て込み準備	16	4 連棟部材(上)の取付け	40
3 柱の建て込み	17	5 屋根部(2台目)の取付け	46
4 事前準備	18	6 連棟部材の取付け	47
5 ブラケットと梁の取付け	22	■梱包明細表	49
6 前枠の取付け	24		
7 屋根材の取付け	26		
8 後枠の取付け	29		
9 側枠の取付け	31		
10 柱カバー・排水部品の取付け	32		

表示マーク



独立基礎で
施工の場合



土間コンクリートで
施工の場合



偏芯基礎部材を
使用して施工の場合



柱位置を移動して
施工の場合



「連棟」を施工の
場合



オプション
製品



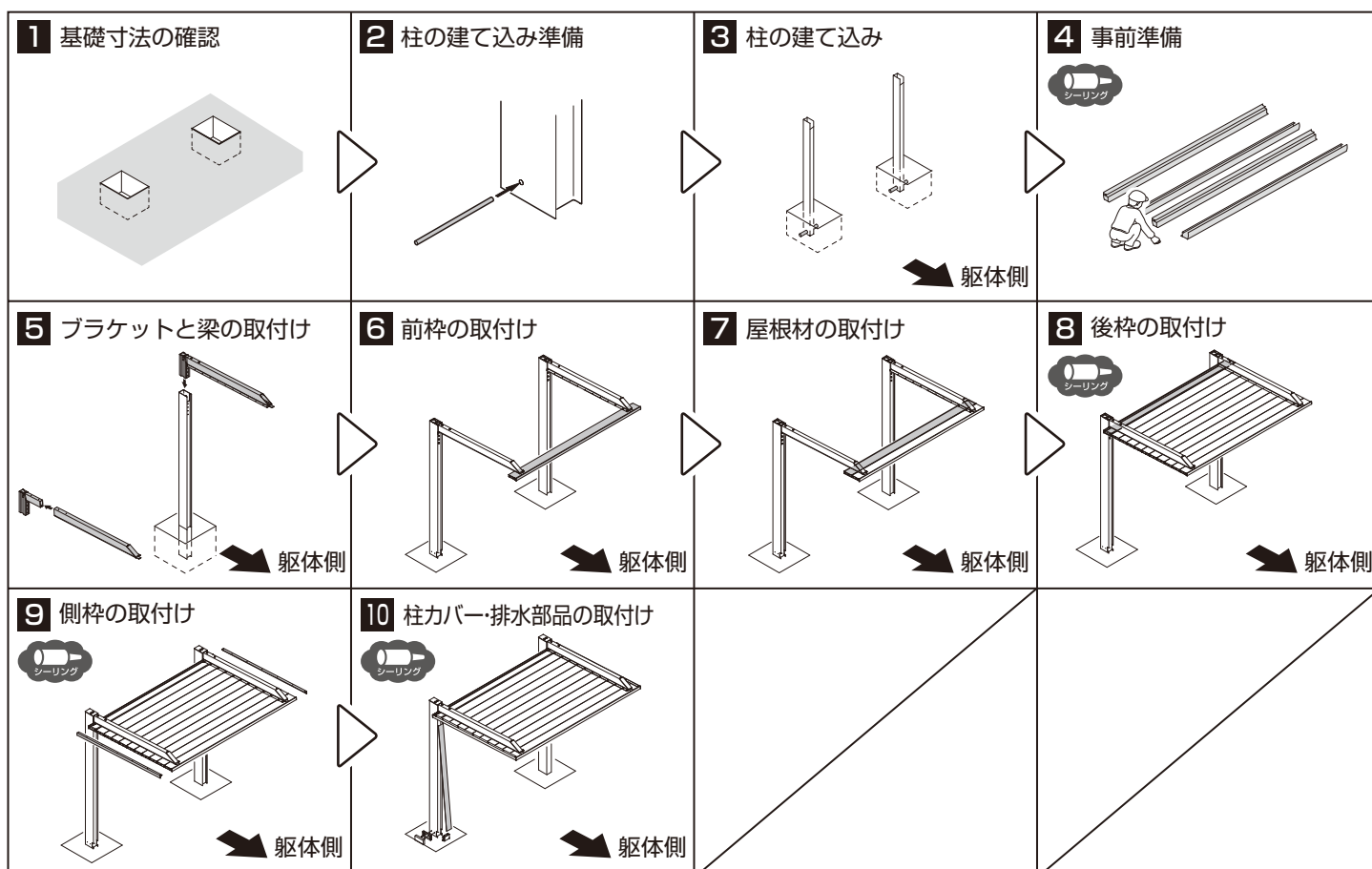
シーリング
箇所



下記のオプションを取付ける場合は、対応した
取付説明書を併せて参照してください。

「テラスSC 照明 取付説明書(N006)」
「SC ミニ・1台用 着脱式サポート 取付説明書(D646)」
「スタイルシェード【アルミ屋根付用】 取付説明書(N004)」
「吊り下げ物干しA・B/前後移動物干し 取付け説明書(M942)」
「クリーンハンガー 取付説明書(E437)」
「可動竿掛け(着脱式) 取付説明書(E268)」
「カーポート共通部品 雨樋ネット(アーキフィールド・SC)(D560)」

施工の流れ



施工チェックポイント

重要

- ・組立施工時、下記項目を確認し、確実に施工されていることを確認してください。
- ・正しい取付けをしなかった場合、屋根材の落下などにより、使用者がケガを負うおそれがあります。

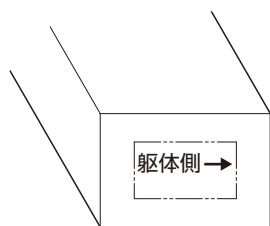
① 梱包の向きの確認

チェック欄

●矢印の向きに従って梱包を配置していますか？

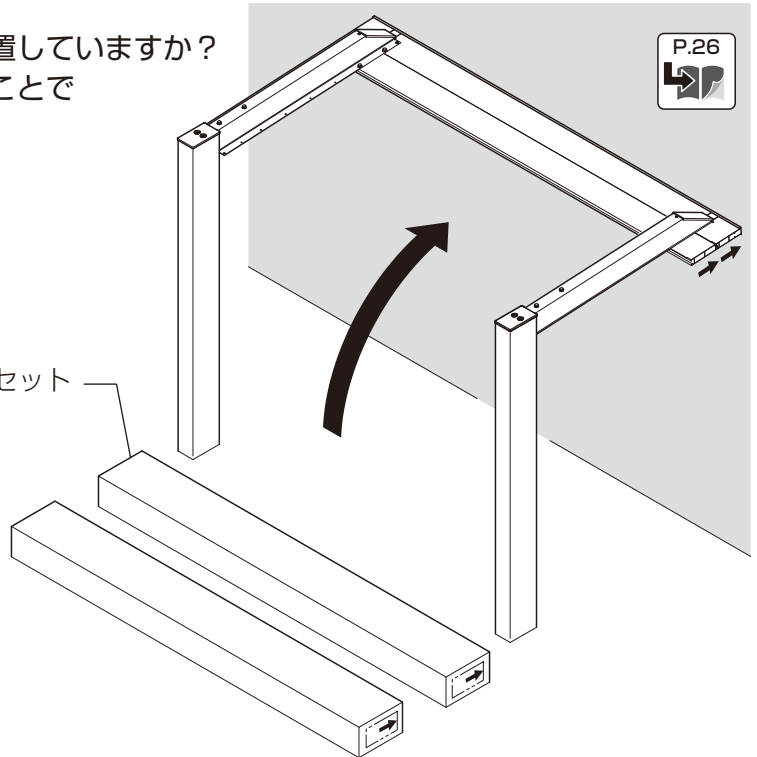
※矢印の向きに梱包を配置することで
屋根材の嵌合方向が統一され、
施工しやすくなります。

P.26



屋根材・前後枠セット

屋根材・前後枠セット



② 水抜き穴の確認

チェック欄

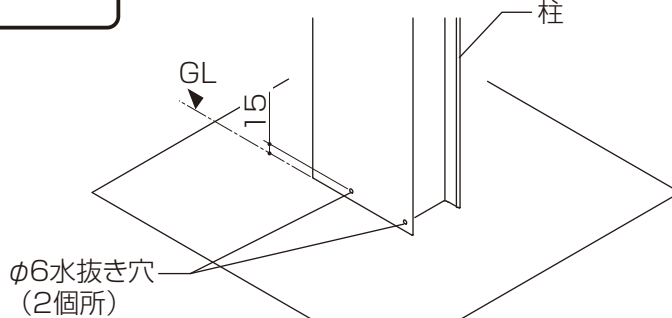
●柱に水抜き穴はあけていますか？

※凍結により柱の破損のおそれがあります。

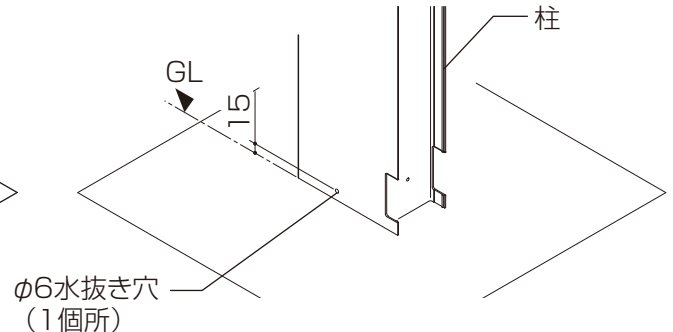
■柱

■柱(排水側)

P.17



φ6水抜き穴
(2箇所)



φ6水抜き穴
(1箇所)

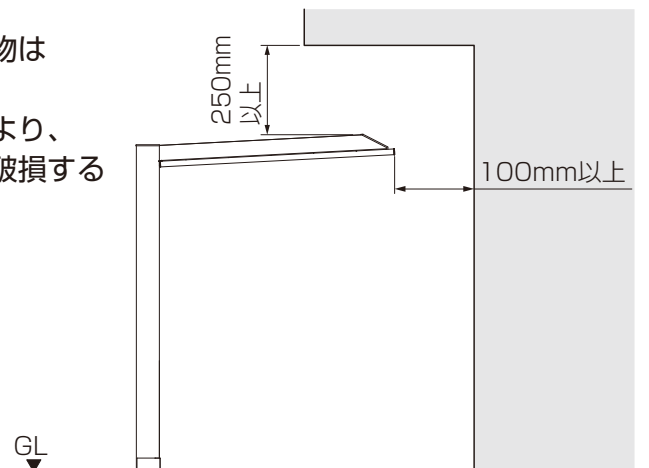
③ 屋根部まわりの障害物の確認

チェック欄

●屋根まわりに障害物は
ありませんか？

※積雪や風の影響により、
柱がたわみ建物が破損する
おそれがあります。

P.12



次ページに続く

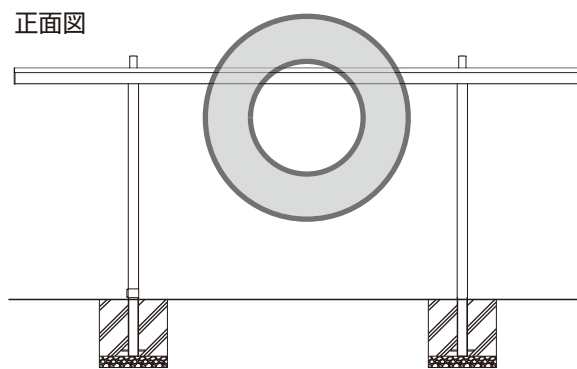
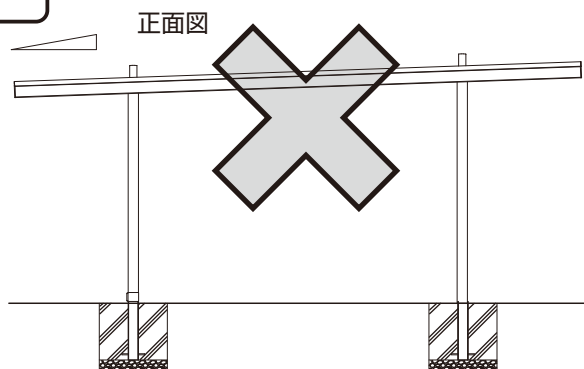
④屋根部の水平・直角確認

チェック欄

●屋根部は“水勾配なし”になっていますか？

※排水部が端部にないため、水勾配を設けると雨水がたまり、雨漏れの原因になります。

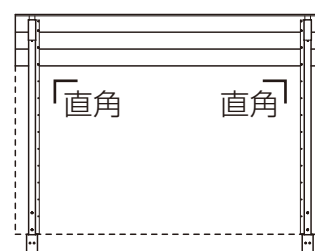
P.12



●屋根部と梁が直角になっていますか？

※屋根材が取付けできないおそれがあります。

平面図



⑤屋根切り欠き部の確認

チェック欄

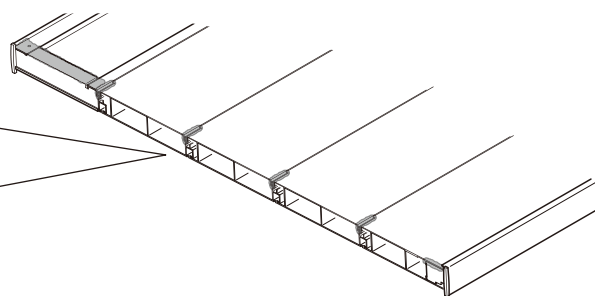
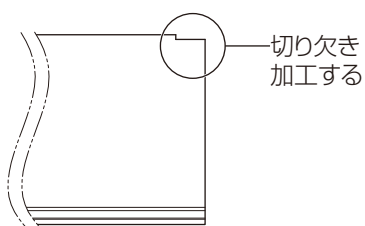
●屋根切り詰めをした場合、切り欠き加工をしていますか？

P.21



▲ 注意

屋根切り詰めをした場合は、屋根端部に切り欠き加工をしてください。



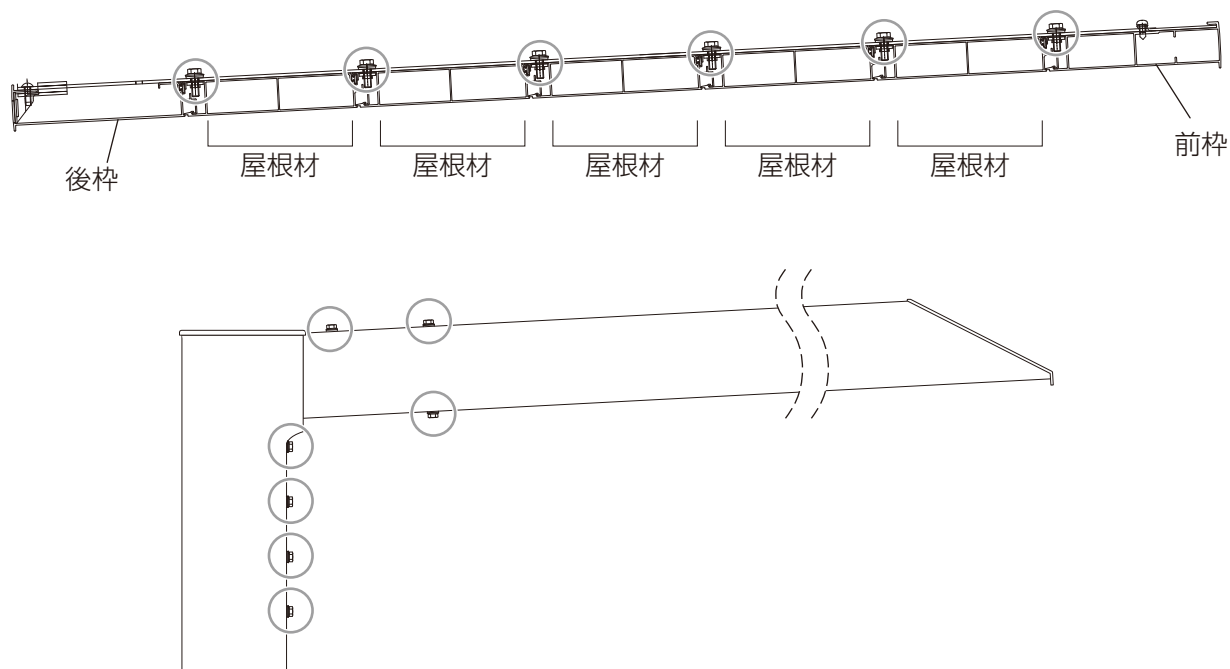
次ページに続く

⑥施工完了後、ボルト・ネジの締め忘れがないか確認

チェック欄

●柱・梁のボルトと、屋根材・前枠と梁を取付けているボルトに緩みがないか確認してください。

※屋根のバタつきや漏水のおそれがあります。



OP
オプション

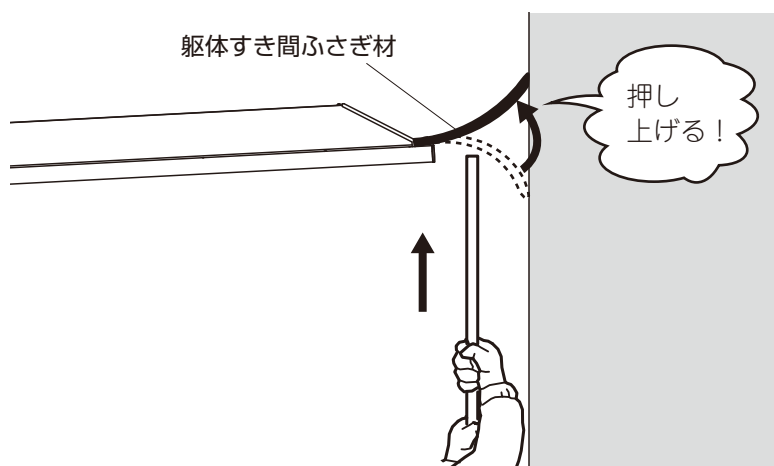
【すき間ふさぎ材】を取付ける
場合の作業です。

⑦施工完了後、すき間ふさぎ材を棒などで押し上げてください。

チェック欄

※すき間ふさぎ材が垂れて、雨の吹き込みが防止できないおそれがあります。

P.31



MEMO

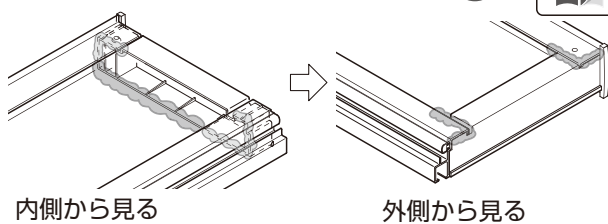
シーリング箇所一覧

①後枠キャップ

チェック欄



P.18



②集水部品

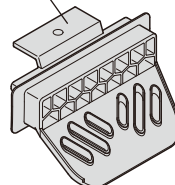
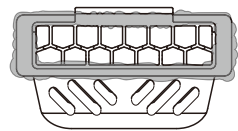
チェック欄



P.19

集水部品背面

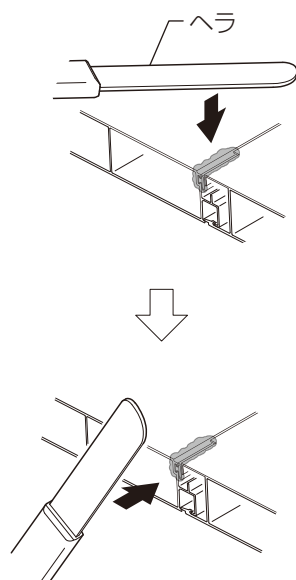
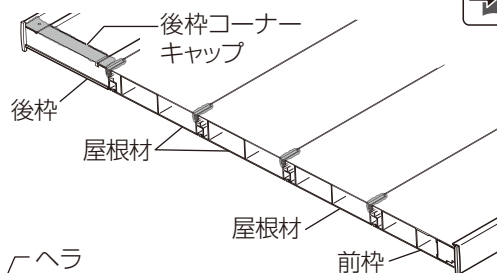
集水部品



⑤屋根材端部

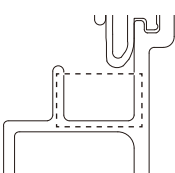
チェック欄

P.31

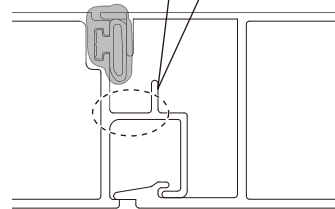


⚠ 注意

破線部分に
シーリングし
ないようにし
てください。



端部にもシーリングを
してください。



⑩排水部品A・B

チェック欄



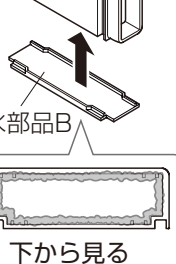
P.32-33

排水部品A

柱

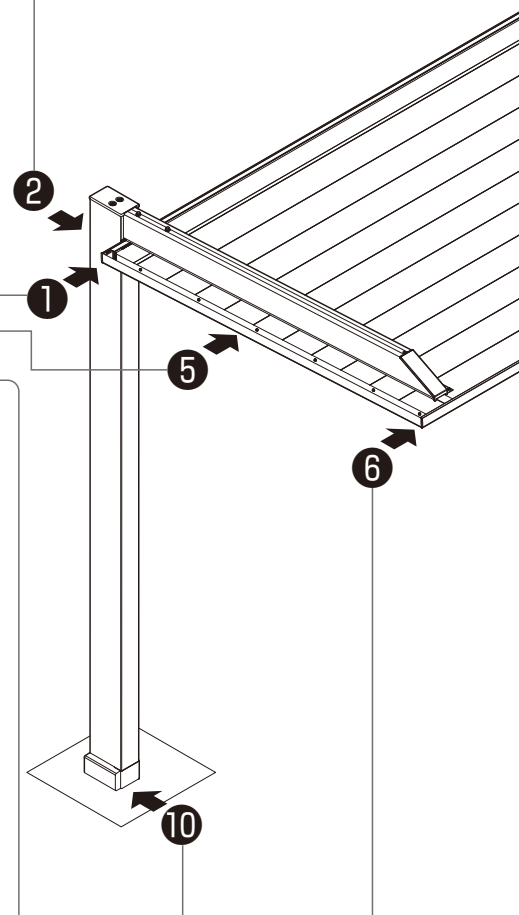
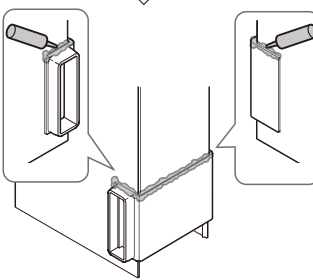
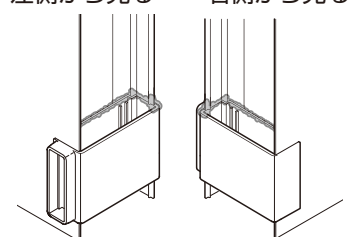
柱カバー

排水部品B



左側から見る

右側から見る



③雨樋穴ふさぎキャップ

P.19

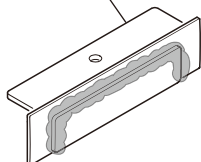
チェック欄



下面

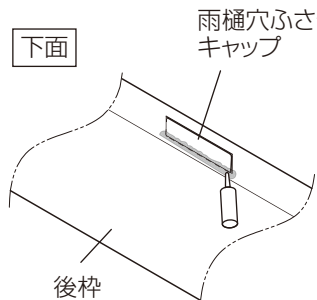
雨樋穴ふさぎ
キャップ

雨樋穴ふさぎ
キャップ



後枠

下から見る



④柱キャップ

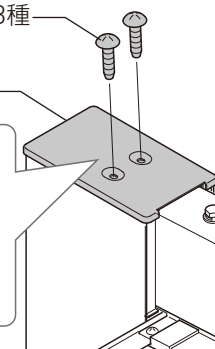
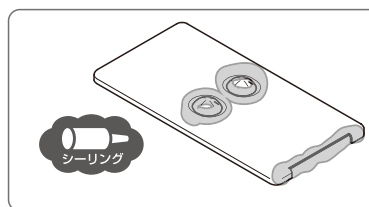
P.30

チェック欄



【8-3】φ5×20
トラスタッピンネジ3種

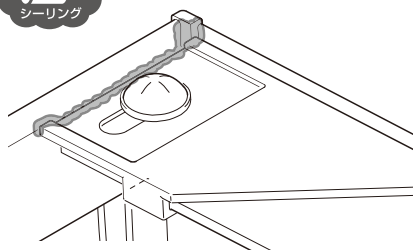
柱キャップ



⑨後枠キャップ上部

P.31

チェック欄



⑧前枠コーナーキャップ

P.31

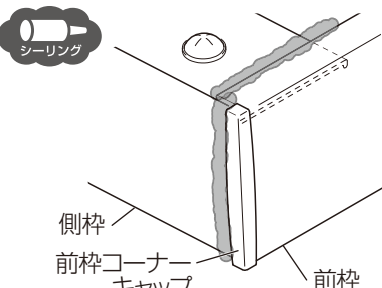
チェック欄



側枠

前枠コーナー
キャップ

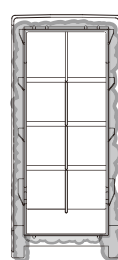
前枠



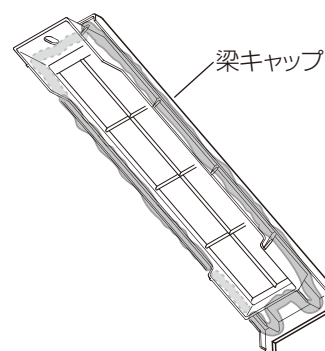
⑦梁キャップ

P.19

チェック欄



梁方向から
裏面を見た図



梁キャップ

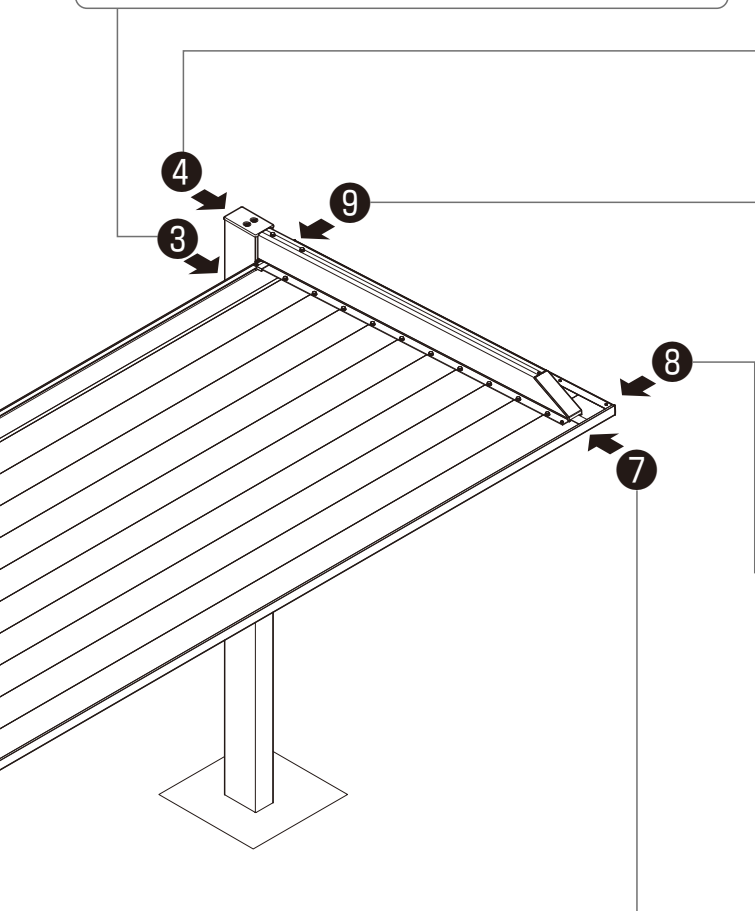
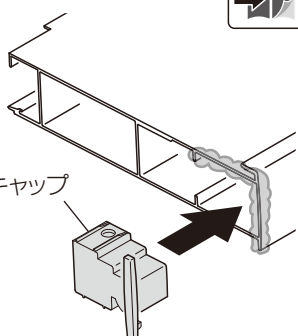
⑥前枠コーナーキャップ

P.18

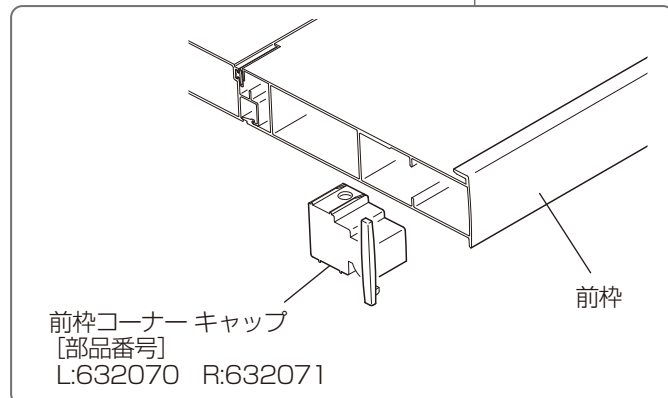
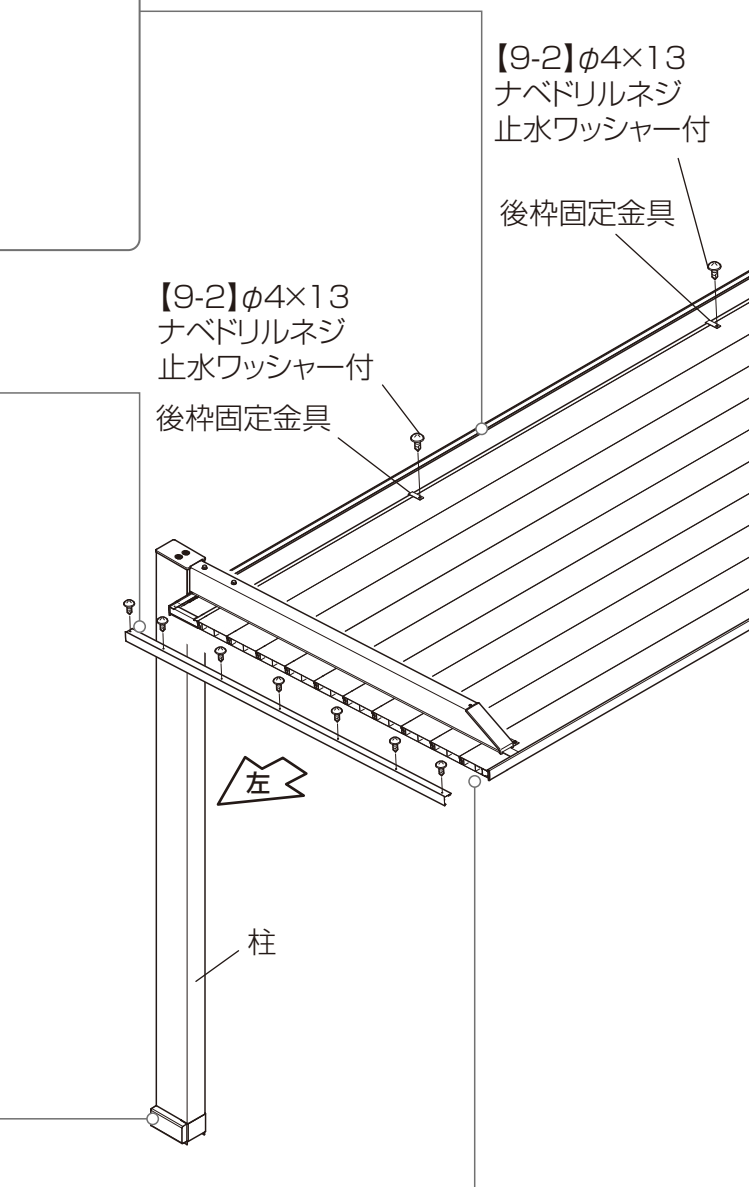
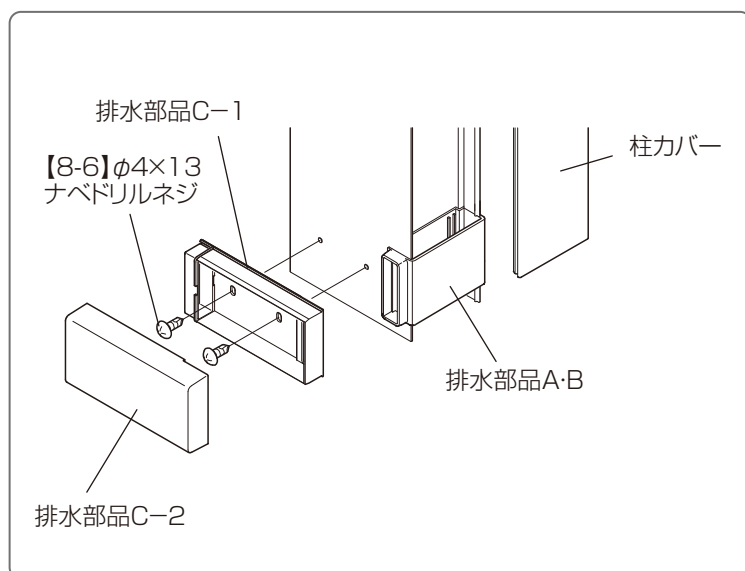
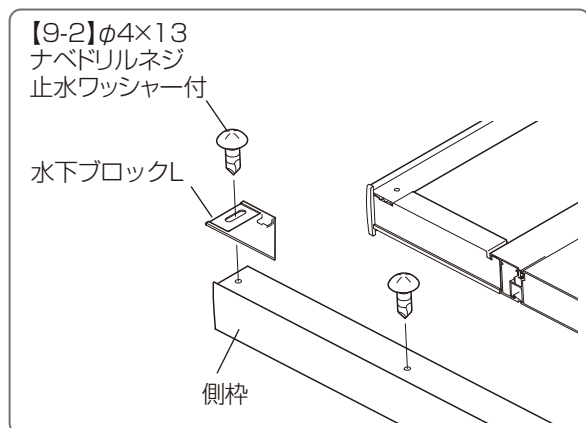
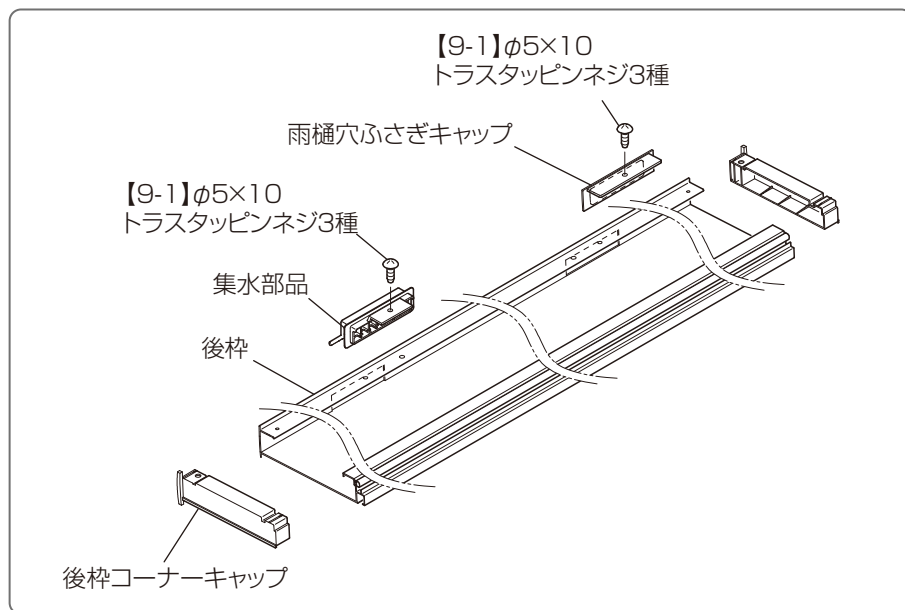
チェック欄

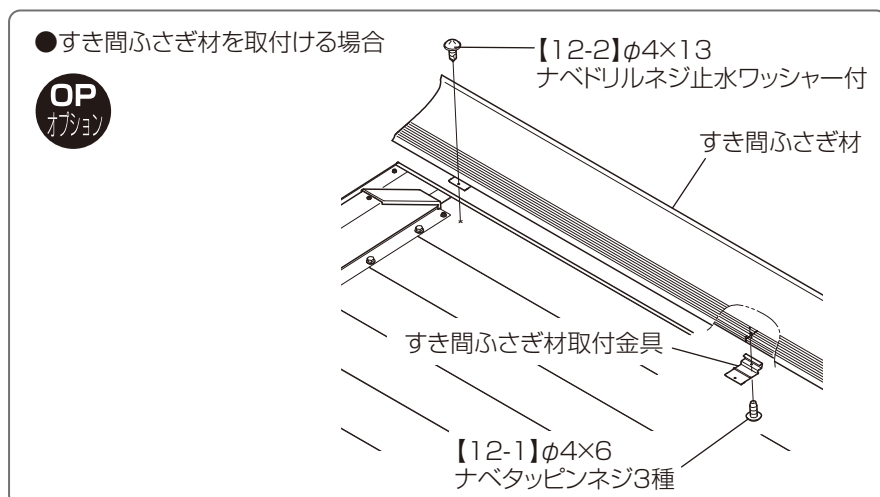
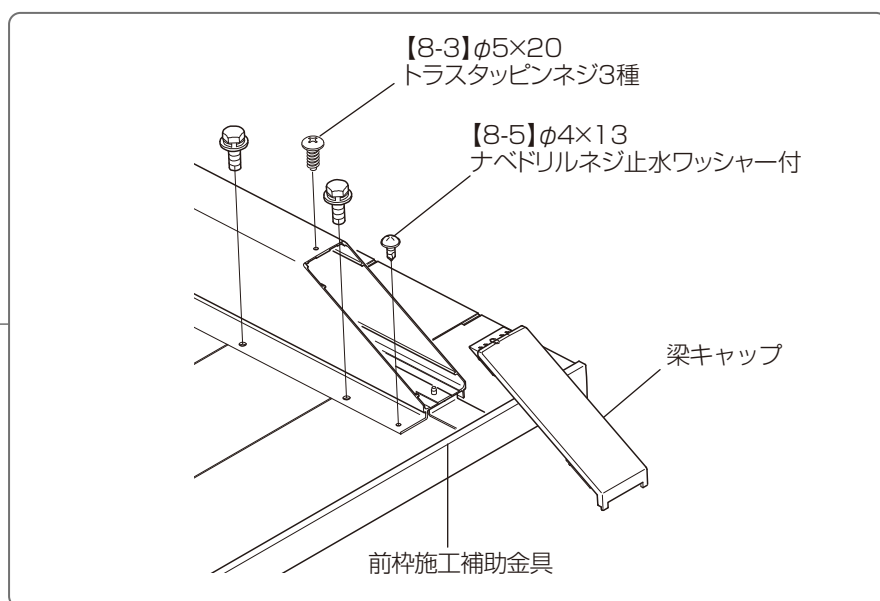
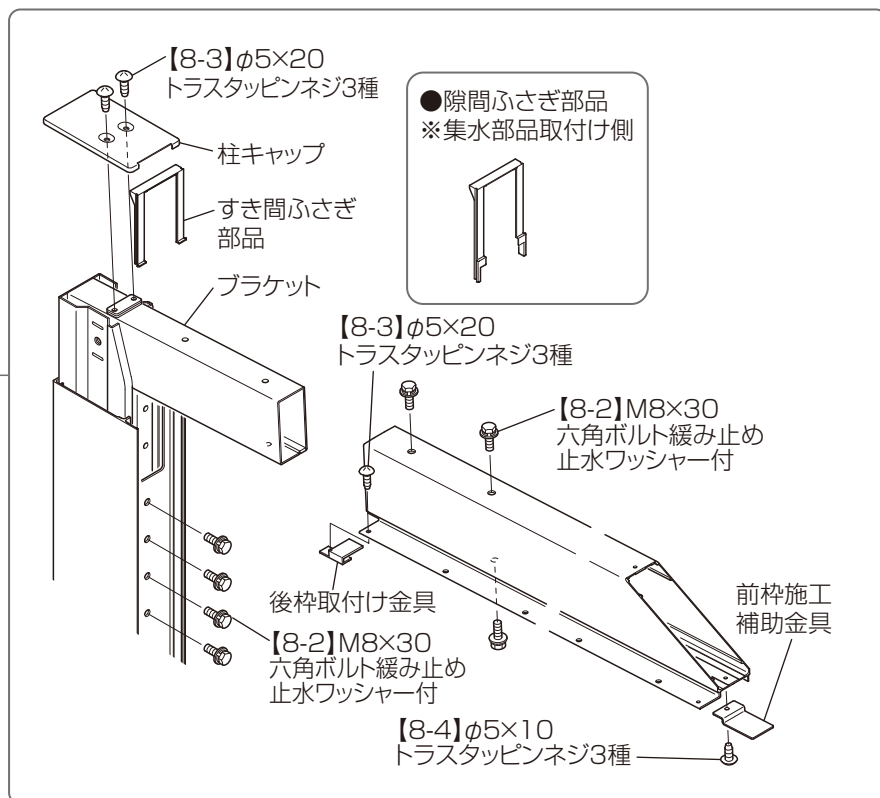
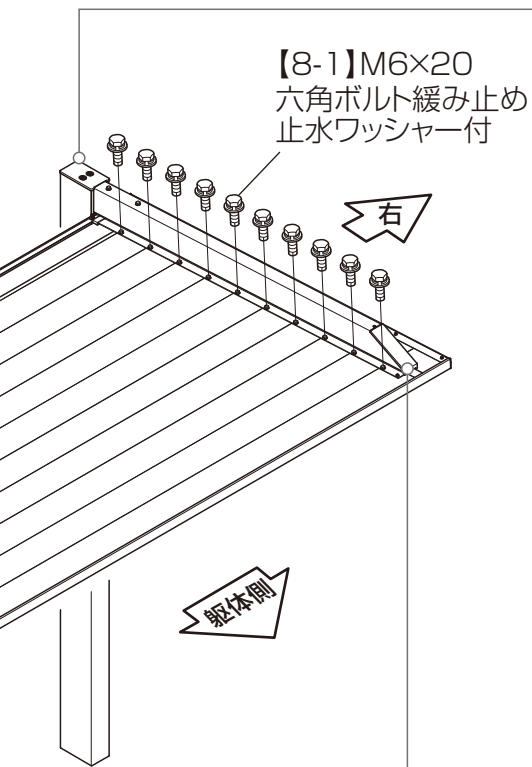


前枠
コーナーキャップ



各部の名称





基本タイプの施工

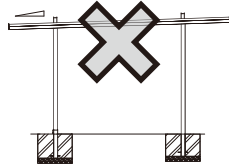
基本の確認事項

姿図

お願い

屋根部に水勾配はつけないでください。

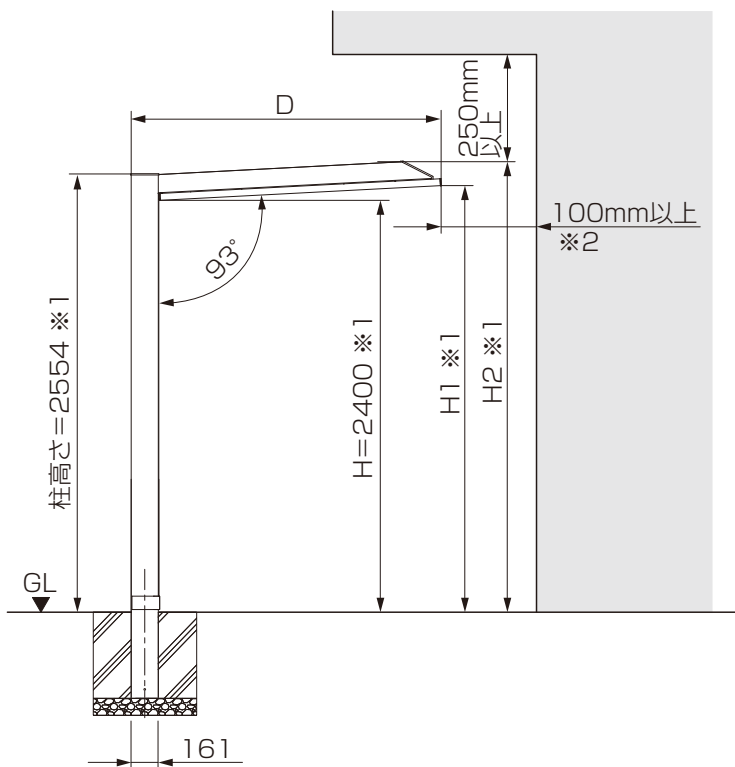
排水部が端部にないため、水勾配を設けると雨水がたまることがあります。



チェックポイント③

お願い

柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。



※1: 柱の高さは標準柱 [H24] の場合を示しています。
長尺柱 [H30] の場合は+600mmとなります。
※2: すき間ふさぎ材取付時は102mmとしてください。

出幅	D	H1	H2
4R	1208	2455	2594
5R	1505	2470	2610
6R	1803	2486	2625
7R	2101	2502	2641

※3.0間7尺の設定はありません。

⚠ 注意

OP
177/30

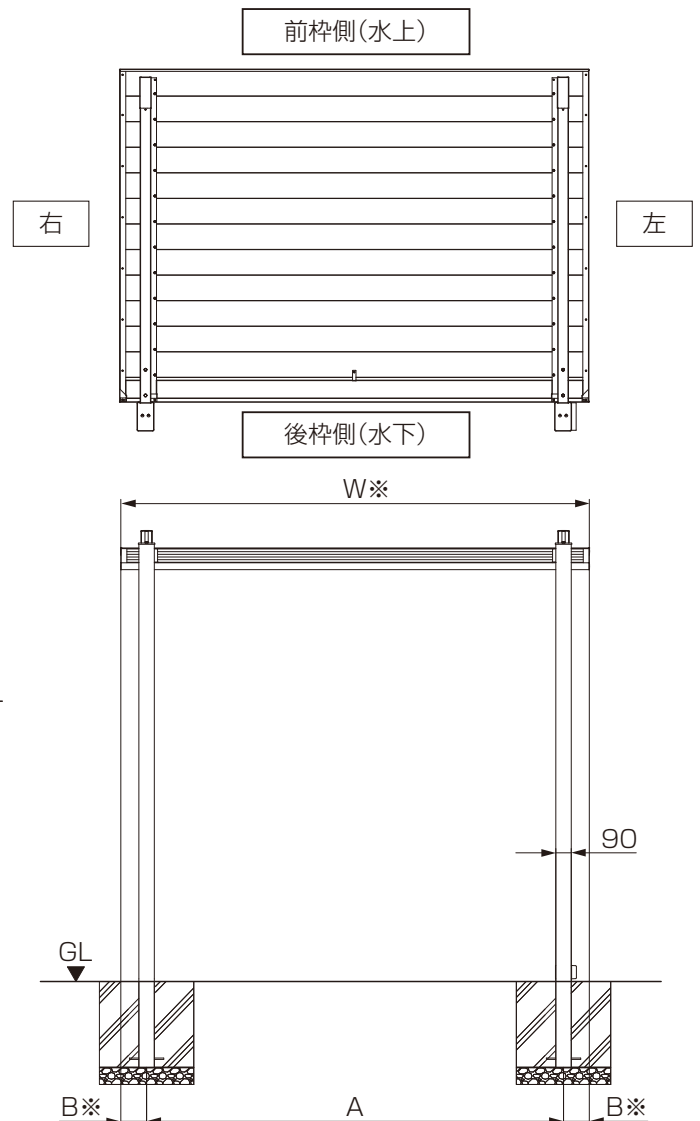
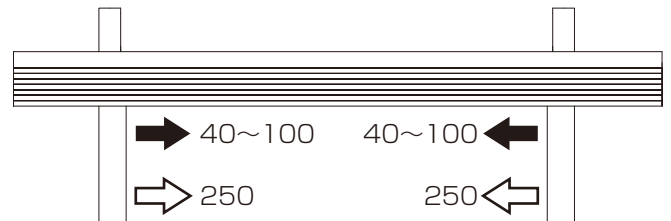


柱移動の場合の
作業です。

【柱移動】をする場合

柱芯々寸法は内側500mm以内で柱移動してください。
柱を101mm以上移動させる場合、両側の柱を均等に移動させてください。

ただし、柱内側40mmの範囲は移動できません。
※他の部材と干渉するため、取付け不可となります。

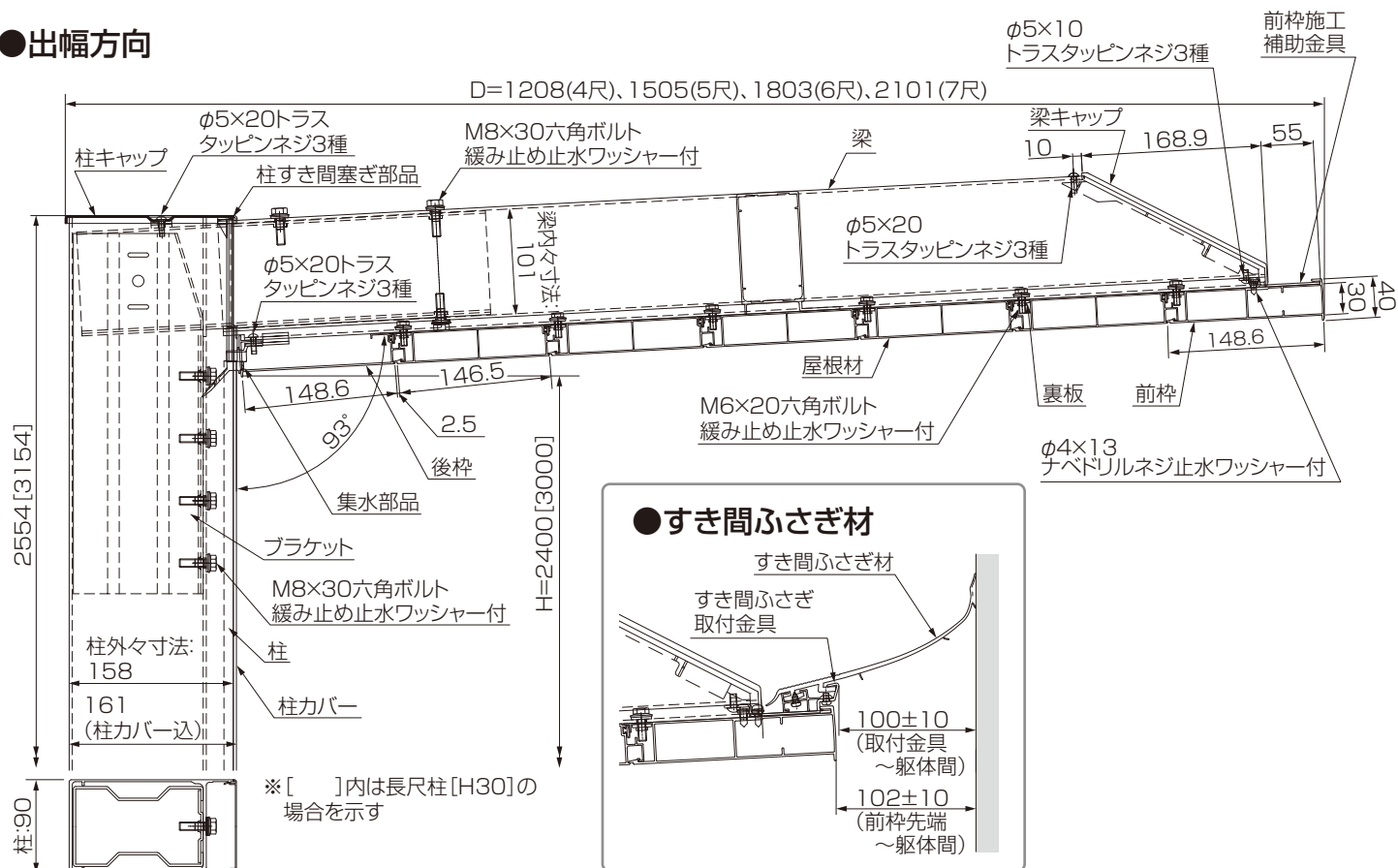


間口	W	A	B
1.5間	2730	2430	150
2.0間	3640	3340	150
2.5間	4550	3340	605
3.0間	5460	3340	1060

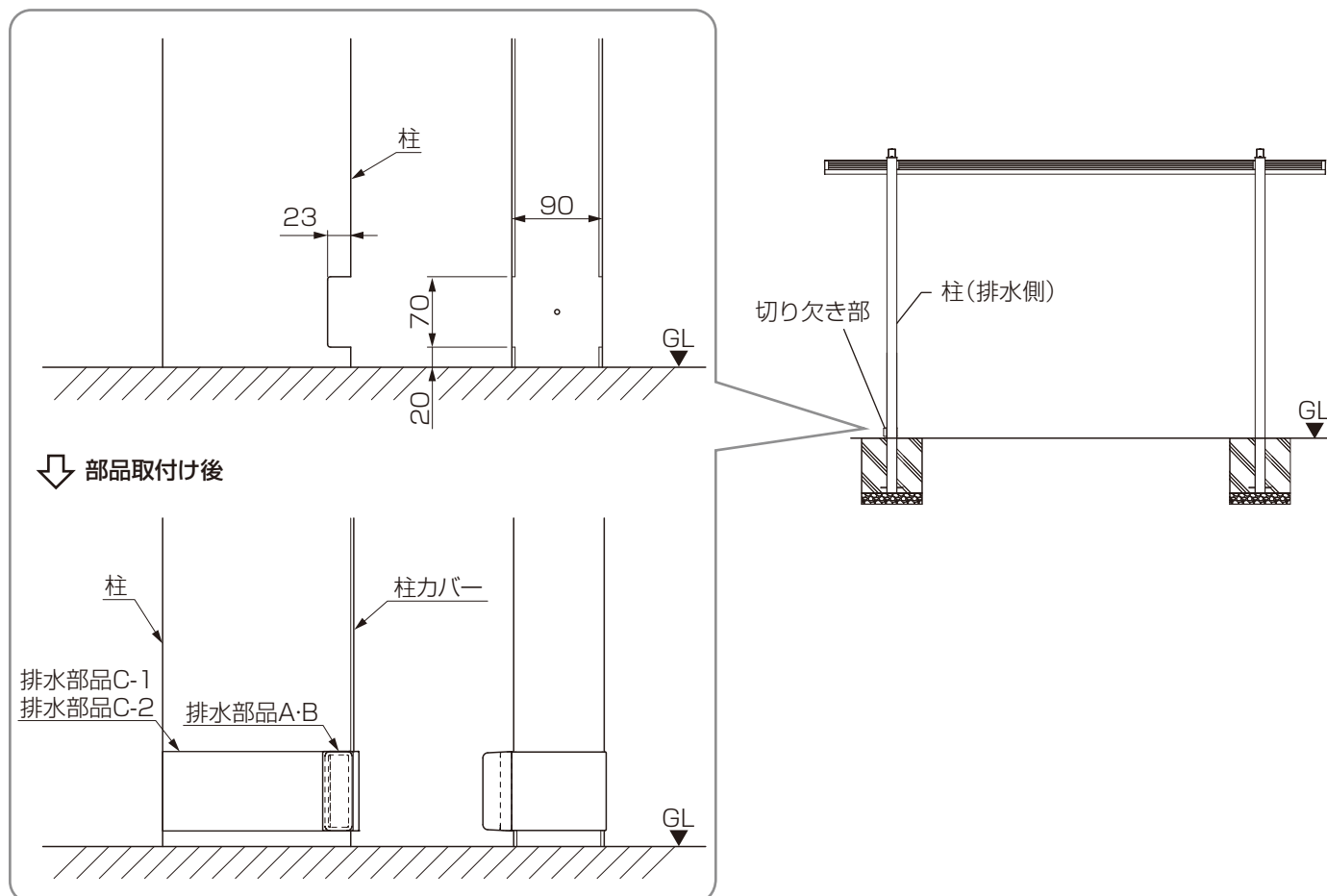
※照明用側枠を使用する場合、
片側のみ使用は+14.5mm、
両側使用は+29mm
してください。

基本納まり図

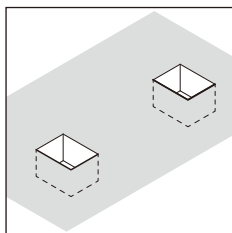
●出幅方向



●排水部



□ 基礎の墨出し

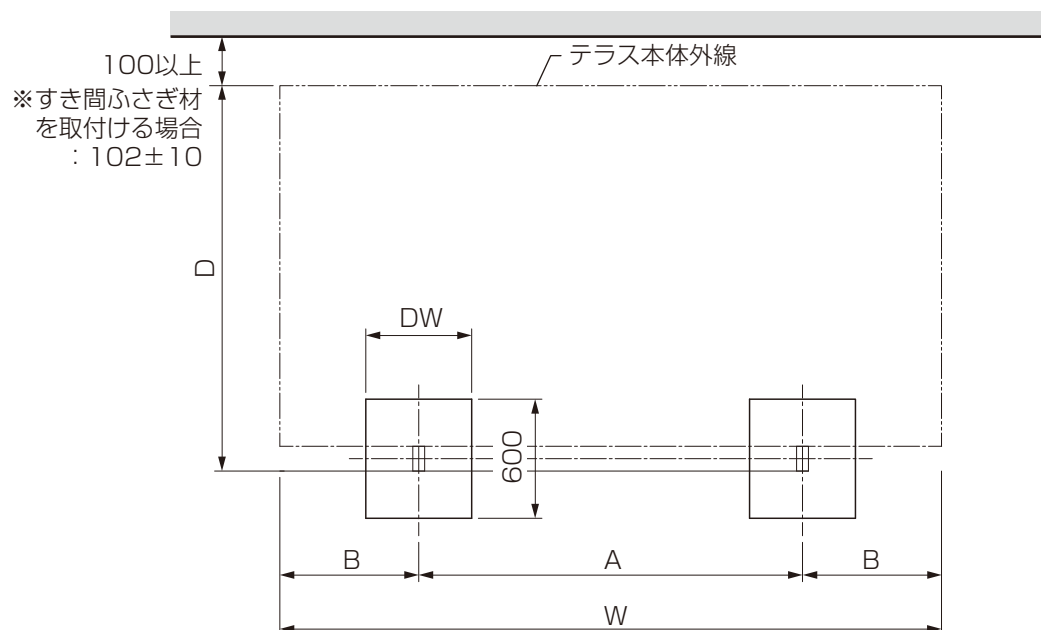


下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

「テラスSC 照明 取付説明書(N006)」

お願い

・基礎寸法は、次ページを参照してください。



P.12

A・B・D・W寸法は、
P.12を参照してください。

1 基礎寸法の確認

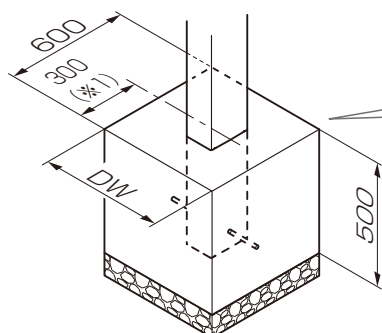
①基礎穴寸法を確認してください。

■基礎寸法DW

		間口			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
出幅	4R	550	550	550	600
	5R	550	550	600	600
	6R	550	600	600	600
	7R	550	600	600	—



【独立基礎仕上げ】の場合の作業です。

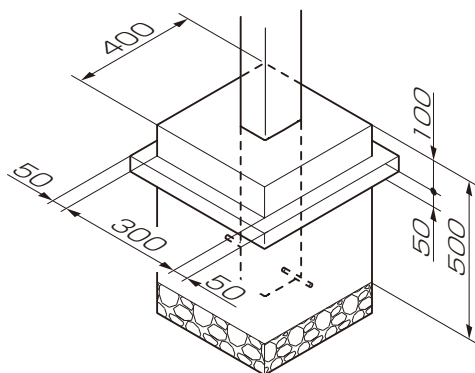


補 足

(※1) は柱芯から基礎端面までの寸法です。

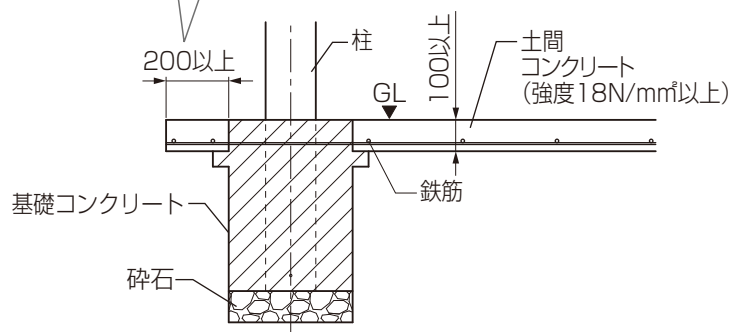


【土間コンクリート仕上げ基礎】の場合の作業です。



お 願 い

基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上に
なるようにしてください。



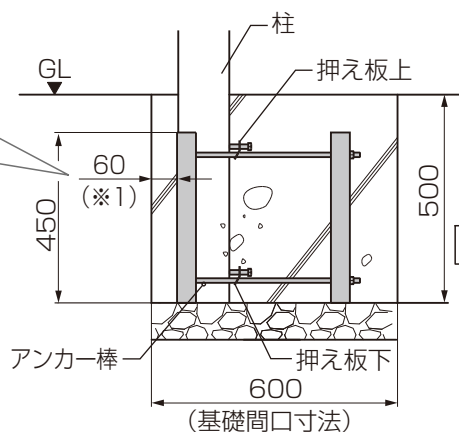
【偏心基礎部材】を取付ける場合の作業です。



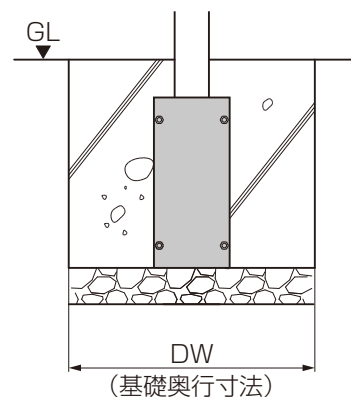
組立て方法、基礎寸法については
【偏心基礎部材 取付説明書 (D349)】も参照してください。

補 足

※1はタテ材Aの外
面から基礎端面の
寸法です。



躯体側



2 柱の建て込み準備

□ 柱の加工（柱を切詰める場合）

- ①柱（排水用）に切欠きを移動する加工を行ってください。
②柱カバーに切断加工を行ってください。



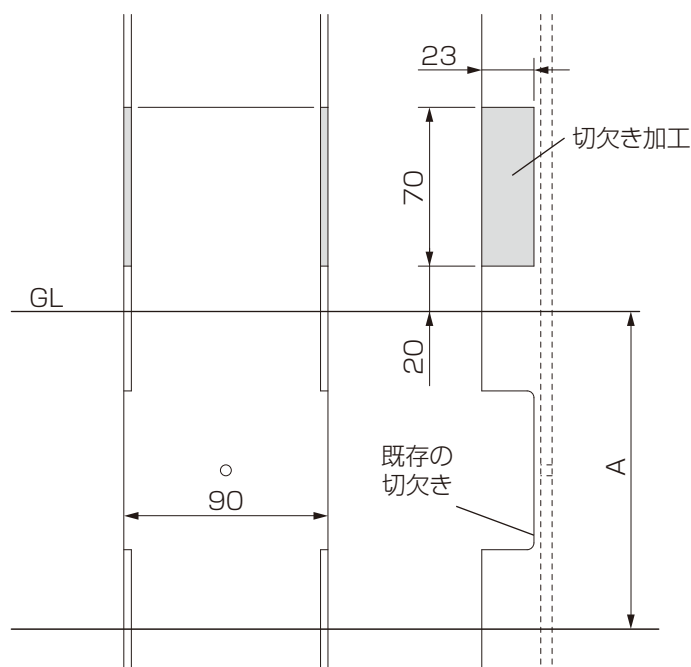
下記のオプションを取付ける場合は、追加で柱と柱カバー加工をします。
対応した取付説明書を併せて参照してください。

「テラスSC 照明 取付説明書(N006)」
「テラス(デッキ接続) 取付説明書(N007)」

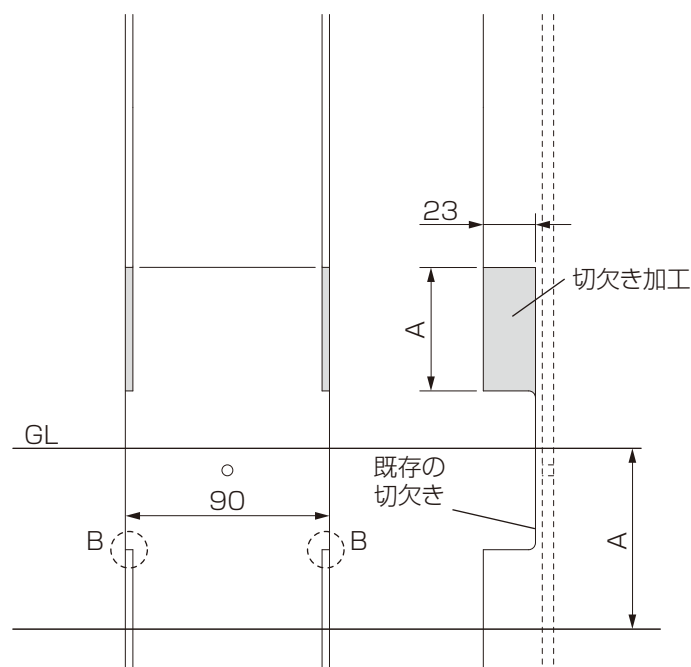
●加工寸法

【柱】

切詰め寸法Aが70mm以上の場合

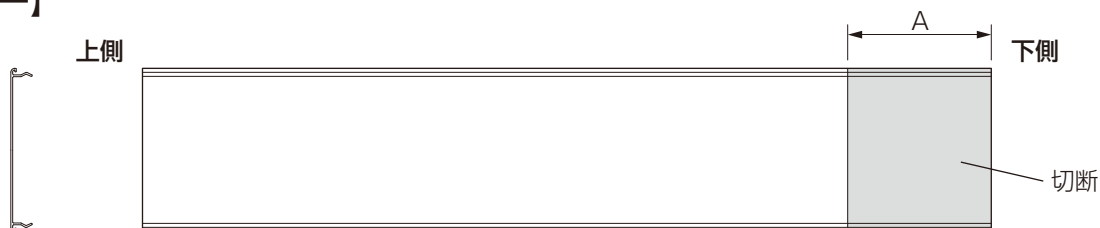


切詰め寸法Aが70mm以下の場合

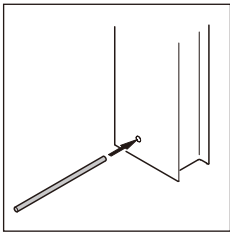


※B部分がGLより上になる場合は、既存の切欠きの角が露出しますので、切り落とすか基礎の中に埋める等の処理を行ってください。

【柱カバー】



□ アンカー棒の取付け



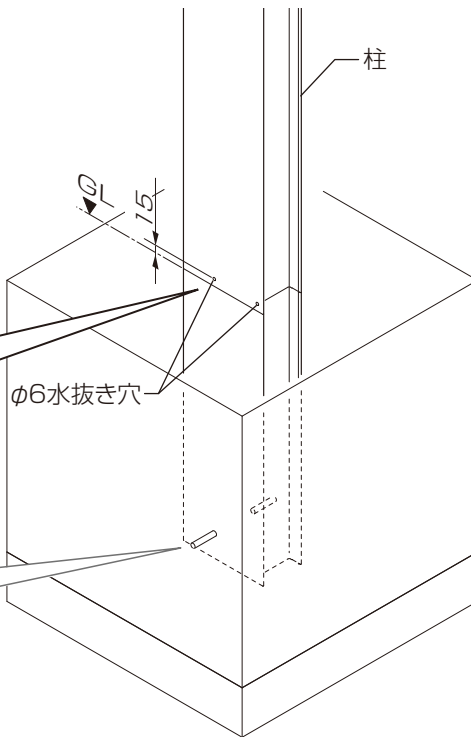
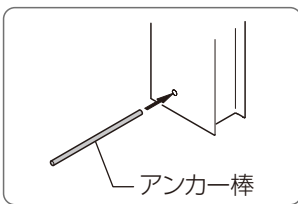
- ①アンカー棒を柱に差込んでください。
- ②φ6の水抜き穴を柱のGL付近(地上側)にあけてください。

⚠ 注意

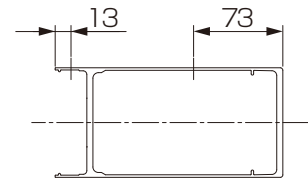
水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。



チェックポイント②

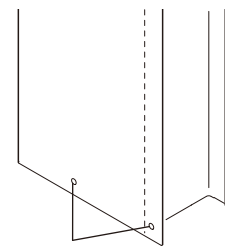


⚠ 注意

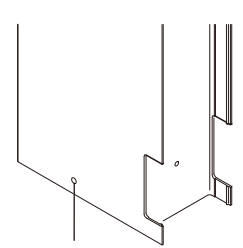


●柱

●柱 (排水側)



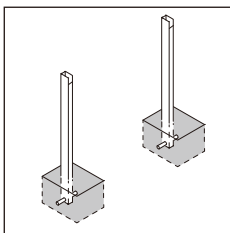
φ6水抜き穴
(2箇所)



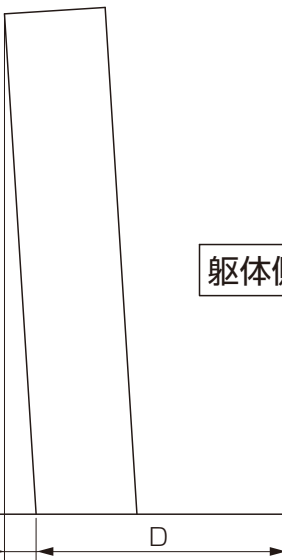
φ6水抜き穴
(1箇所)

3 柱の建て込み

□ 柱の建て込み



- ①柱を10mm程度倒して基礎穴に建て込んでください。



躯体側

お願い

10mm程度後ろに倒すことで屋根の重みで柱がおおよそ垂直になり、屋根の水勾配が確保されます。

補足

- コンクリートが固まるまで、柱が倒れないように添え木や脚立に抱かせるなどしてください。
- 後ろ側に10mm程度倒した柱は、コンクリートが固まるまで保持してください。

4 事前準備

1 前枠への部品の取付け



柱移動をする場合、
P.20を参照して
部材を加工してください。



間口を切詰める場合、
P.21を参照して
部材を加工してください。

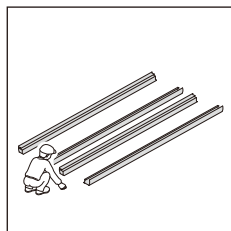


【すき間ふさぎ材】を
取付ける場合、
P.24を参照して前枠を
加工してください。



下記のオプションを取付ける場合は、対応した
取付説明書を併せて参照してください。

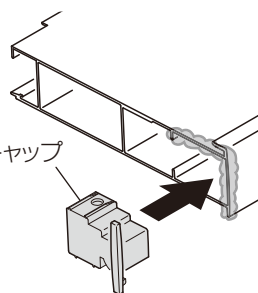
「テラスSC 照明 取付説明書(N006)」
「SC ミニ・1台用 着脱式サポート 取付説明書(D646)」
「スタイルシェード【アルミ屋根付用】 取付説明書(N004)」
「吊り下げ物干しA・B/前後移動物干し 取付説明書(M942)」
「クリーンハンガー 取付説明書(E437)」
「可動竿掛け(着脱式) 取付説明書(E268)」



①前枠にシーリングし、前枠コーナーキャップを
取付けてください。

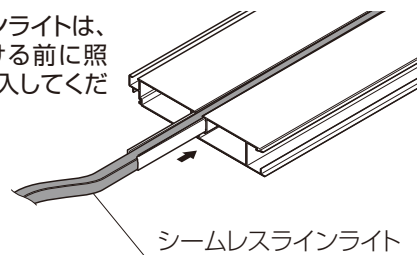


前枠
コーナーキャップ



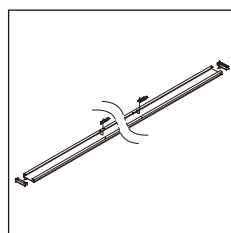
お願い

シームレスラインライトは、
屋根材を組付ける前に照
明用屋根材に挿入してくだ
さい。



挿入方法は「テラスSC 照明 取付説明書(N006)」を参
照してください。

2 後枠への部品の取付け



- ①後枠に墨出しをいれてください。
- ②後枠両端部にシーリング材を塗布してください。
- ③後枠コーナーキャップR、後枠コーナーキャップLを後枠に差
込んでください。
- ④後枠コーナーキャップR、後枠コーナーキャップLを取付け後
に、外側から隙間にシーリング材を塗布してください。
- ⑤内側からはみ出したシーリング材をヘラでならしてください。



下記のオプションを取付ける場合は、
対応した取付説明書を併せて参照してください。

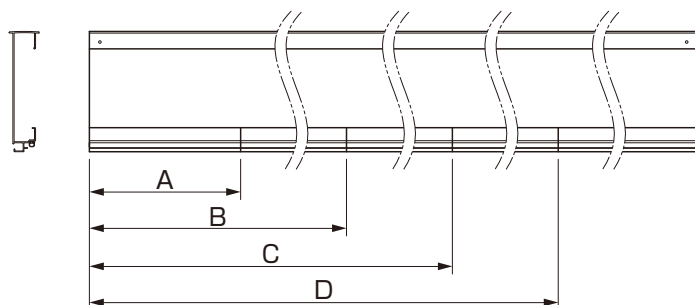
「テラスSC 照明 取付説明書(N006)」

補 足

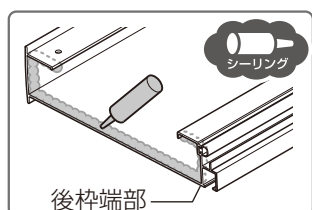
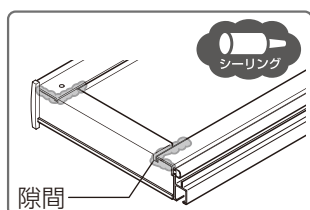
後枠固定金具を取付けるための処理です。



後枠固定金具については、
P.30も確認してください。



間口	個数	A	B	C	D
1.5間	2	957.5	1767.5	—	—
2.0間	2	1261	2374	—	—
2.5間	2	1716	2829	—	—
3.0間	4	530	2171	3284	4925



お願い

後枠コーナーキャップを差込んだ
ときに、シーリング材が途切れな
いようにシーリング材を多めに塗
布してください。

お願い

内側に溜まったシーリング材を、隙間なくヘラでならしてください。
シーリング材が溜まっていない場合は、内側からシーリング材を塗布してください。

後枠コーナーキャップL

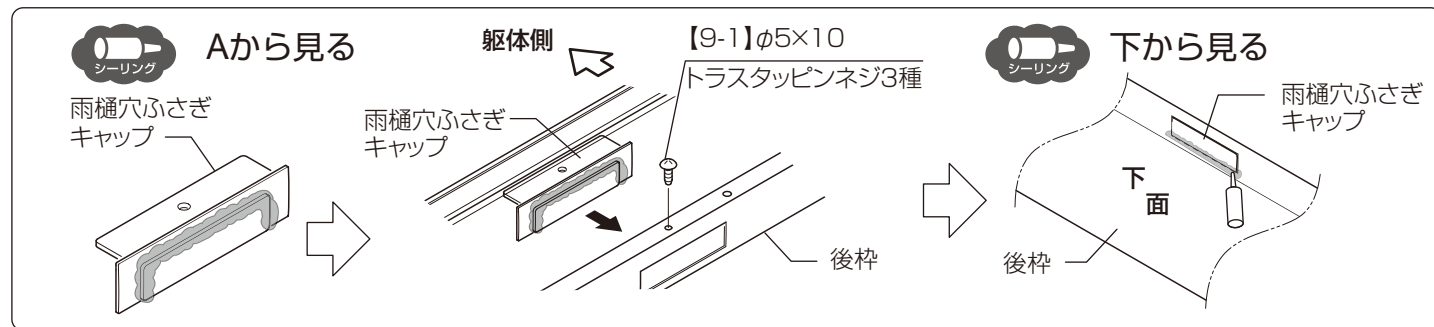
後枠

後枠コーナーキャップR

ヘラ

② 後枠への部品の取付け（つづき）

③集水部品・雨樋穴ふさぎキャップにシーリングをし、後枠に【9-1】で取付けてください。



お願い

柱(排水側)に集水部品を取付けてください。

【9-1】 $\phi 5 \times 10$
トラスタッピン
ネジ3種

集水部品

雨樋穴ふさぎ
キャップ

【9-1】 $\phi 5 \times 10$
トラスタッピンネジ3種

後枠

躯体側

Bから見る

集水部品背面

シーリング

集水部品

躯体側

【9-1】 $\phi 5 \times 10$
トラスタッピンネジ3種

後枠

集水部品

補 足

集水部品は位置固定ネジ用の面を先に入れて回転させ、取付けてください。

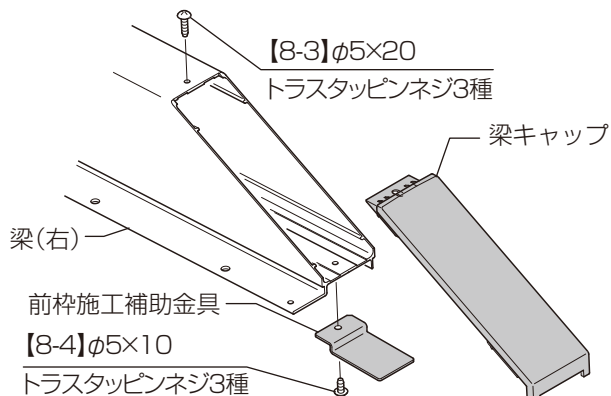


③ネジで固定する (Fix with screw)

③ 梁への部品の取付け

①前枠施工補助金具を【8-4】で梁に取付けてください。

②梁キャップにシーリングし、梁に【8-3】で固定してください。



シーリング

梁方向から
裏面を見た図

梁キャップ

梁フィン部

□ 柱移動の場合

- ①前枠・屋根材・後枠に穴加工を行なってください。
- ②既存穴に穴ふさぎシールを貼ってください。
- ③後枠の排水側に集水部品と加工した雨樋穴ふさぎキャップを取付けてください。



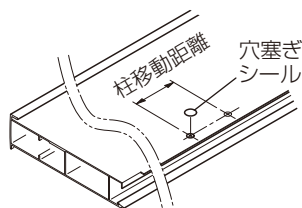
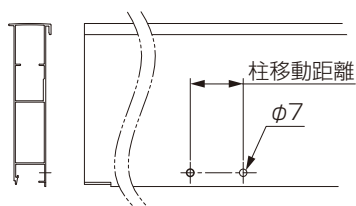
柱移動の場合の作業です。



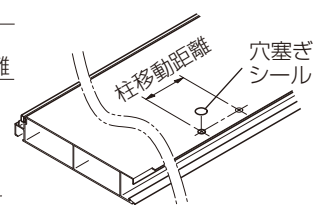
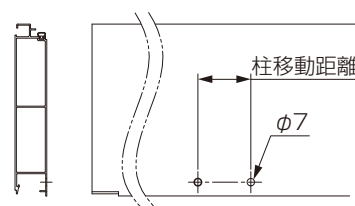
下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

「SC ミニ・1台用 着脱式サポート 取付説明書(D646)」

●前枠

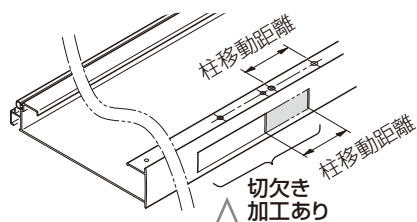
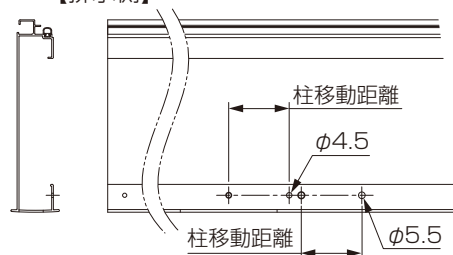


●屋根材

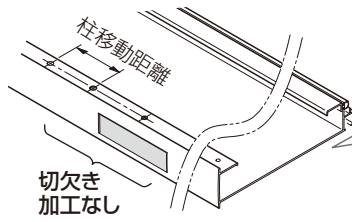
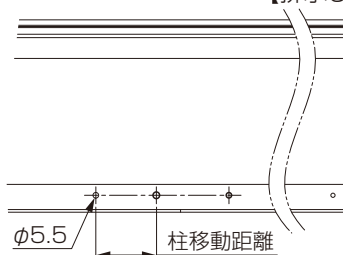


●後枠

【排水側】



【排水しない側】



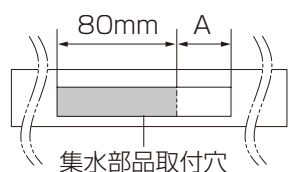
補 足

【雨樋穴ふさぎキャップ】の加工は、必要ありません。

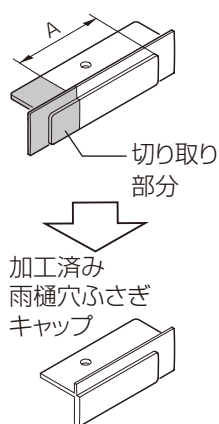
排水柱を移動する場合

●【雨樋穴ふさぎキャップ】の加工

集水部品取付穴が80mmになるように、雨樋穴ふさぎキャップを加工してください。

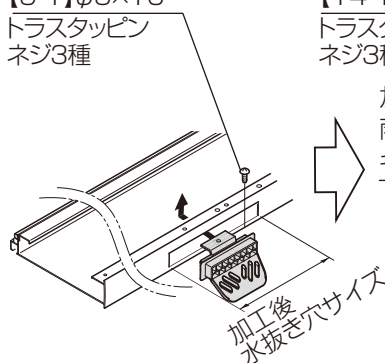


※排水柱で無い場合は、加工は必要ありません。



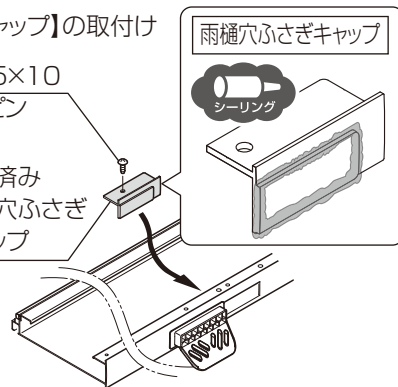
●【集水部品】と加工済み【雨樋穴ふさぎキャップ】の取付け

【9-1】φ5×10
トラスタッピン
ネジ3種



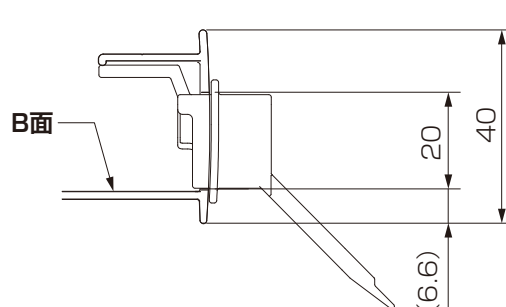
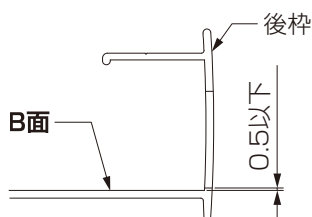
【14-1】φ5×10
トラスタッピン
ネジ3種

加工済み
雨樋穴ふさぎ
キャップ



お 願 い

B面からの切り残しは0.5mm以下としてください。
集水部品を取付けることが
できなくなります。



□ 間口を切詰める場合

- ①前枠・屋根材・後枠を切詰めてください。
- ②切詰めた前枠・屋根材の端部に切欠き加工をしてください。

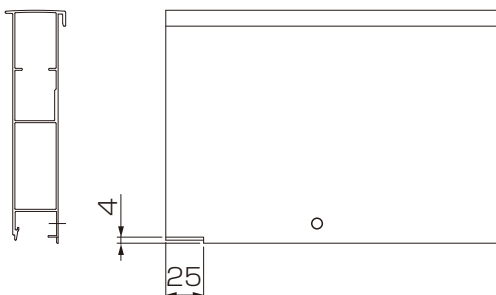


切詰める場合は、スマートフォンで
屋根切り詰め寸法表が確認できます。

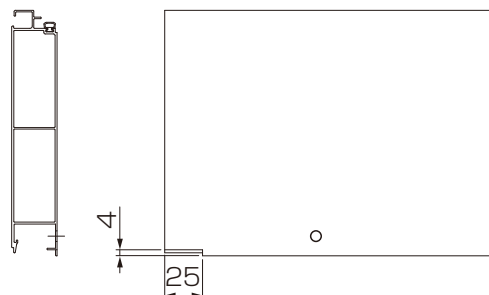


「現場切詰め 取付説明書(EXM-117)」

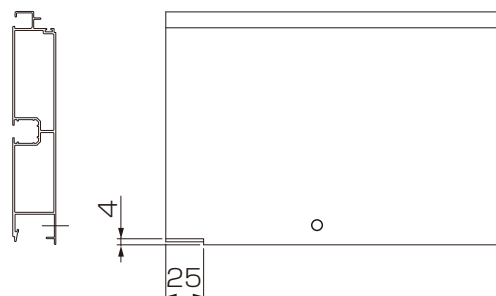
●前枠



●屋根材



●ライン照明屋根材



下記のオプションを取付ける場合は、
対応した取付説明書を併せて参照してください。

「テラスSC 照明 取付説明書(N006)」

⚠ 注意

切り欠き加工がない場合、シーリング処理ができな
いため、漏水の原因になります。



P.5

チェックポイント⑤



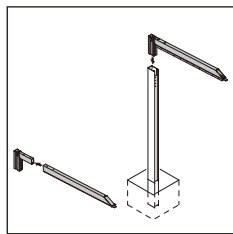
【すき間ふさぎ材】を取付ける場合、すき間ふさぎ材・すき間ふさぎ取付材
を切詰め寸法分切断してください。

お願い

シームレスラインライトを取付ける場合、屋根部の切詰め寸法に制限があります。

- シームレスラインライトを切詰める場合は、「テラス SC 照明 取付説明書 (N006)」の〈シームレスラインライト切詰め方法〉を参照してください。
- シームレスラインライトが特注品の場合は、「テラス SC 照明 取付説明書(N006)」の〈シームレスラインライト特注寸法一覧〉を参照してください。

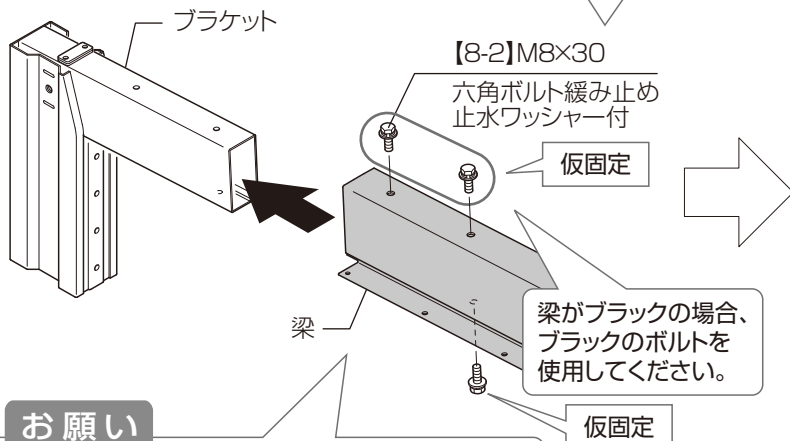
5 ブラケットと梁の取付け



- ①梁をブラケットに差込み【8-2】で仮固定してください。
- ②ブラケットを柱に差込み【8-2】で仮固定してください。

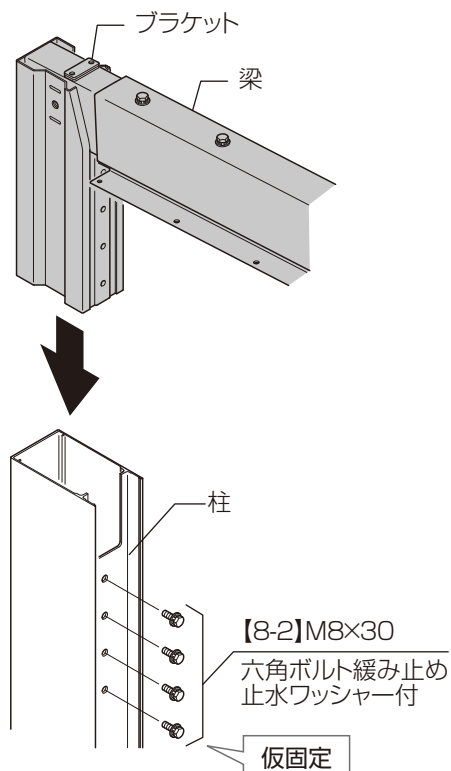
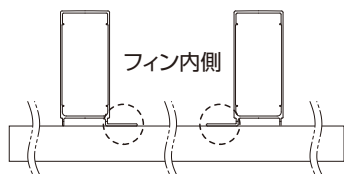
お願い

緩み止め剤硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやすくなる場合があります。
(締め付け後、約24時間で硬化します。)



お願い

梁には向きがあります。
梁のフィンが内側になるように取付けてください。



補足

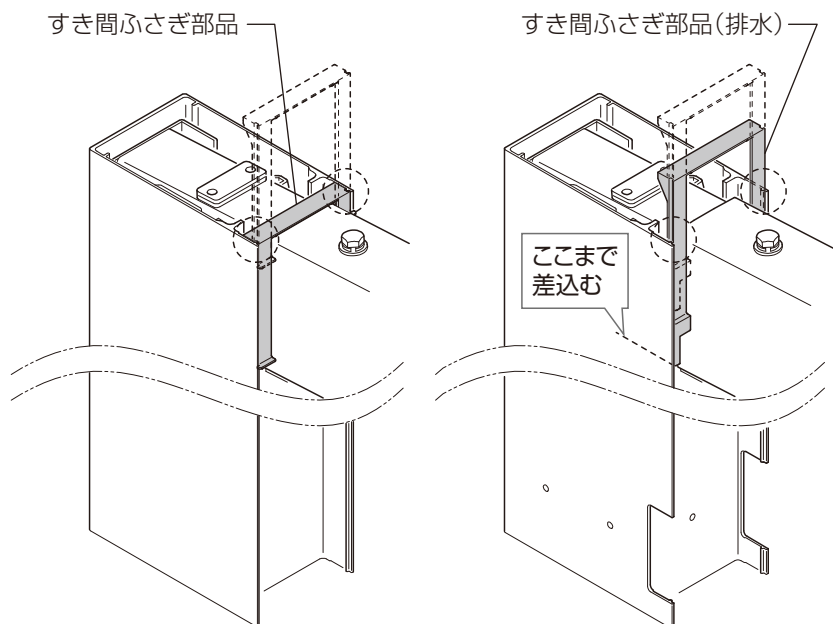


仮固定したボルトは **7** 屋根材の取付けで本固定します。

- ③すき間ふさぎ部品を取付けてください。

●柱

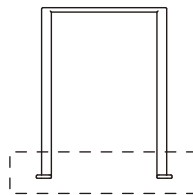
●柱(排水側)



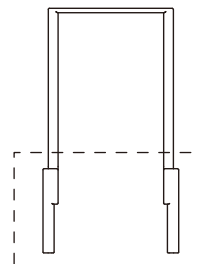
補足

柱隙間ふさぎ部品には種類があります。
点線部分の形状で判断できます。

●柱

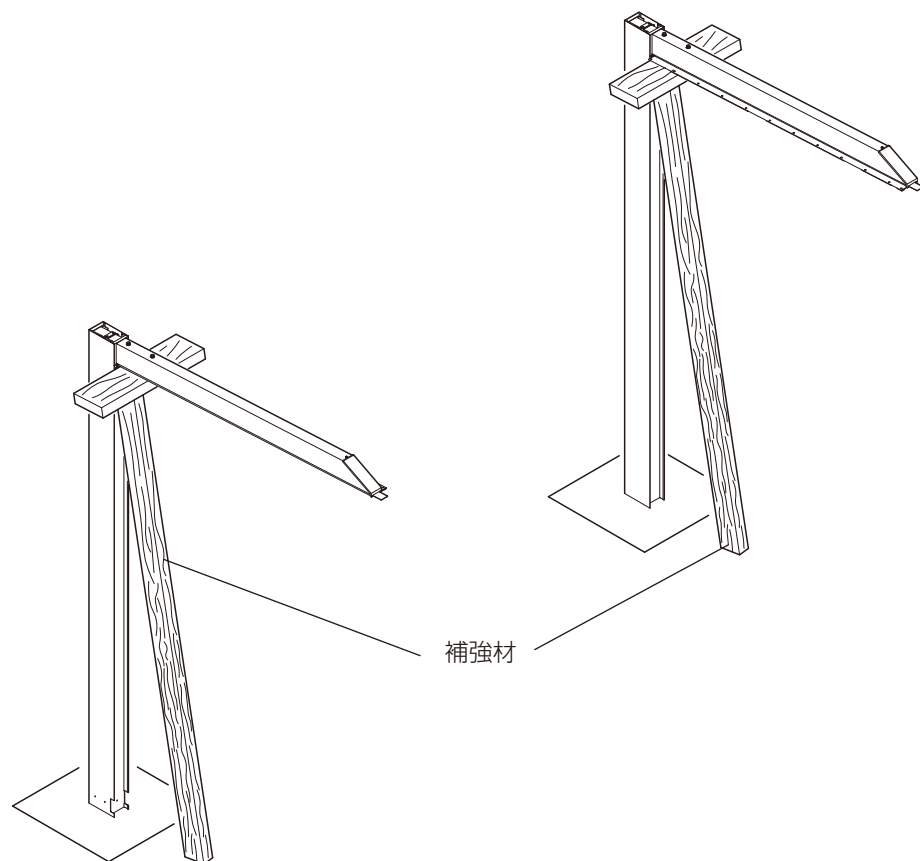


●柱(排水側)

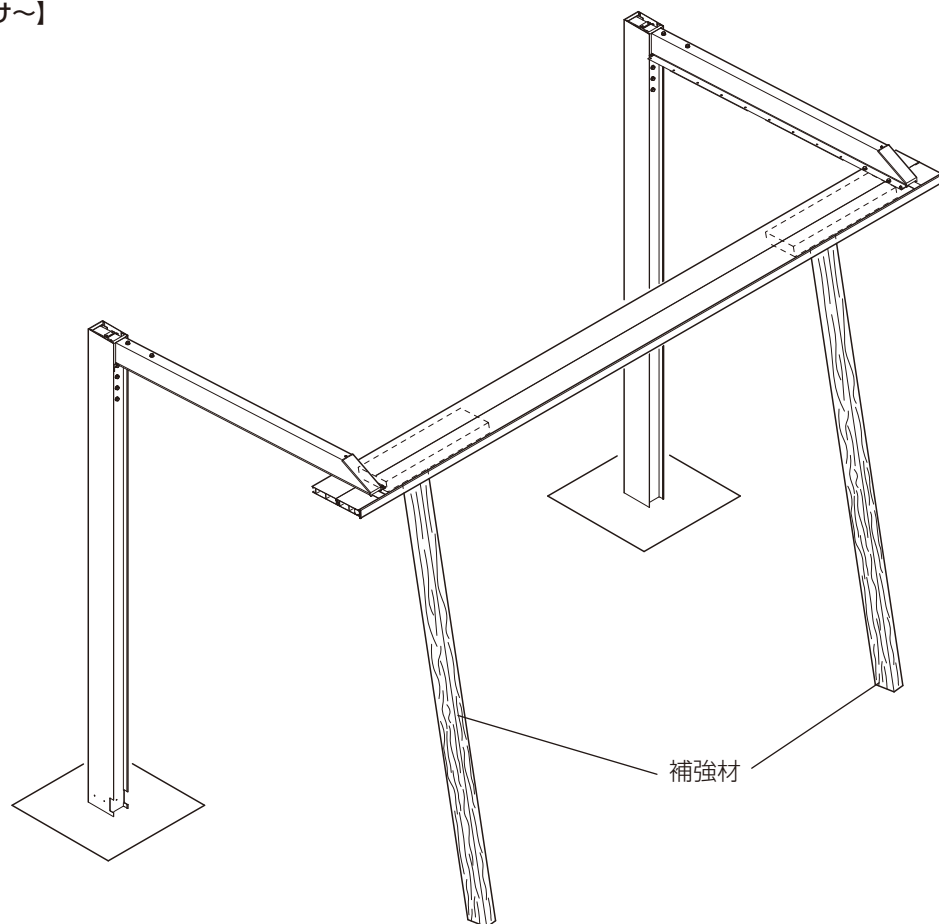


(参考例) 補強のしかた

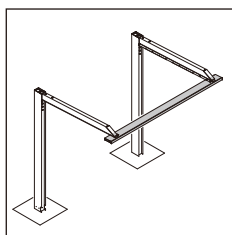
【ブラケットと梁取付け～前枠・屋根材1枚目取付け】



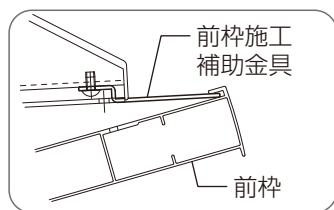
【屋根材2枚目取付け～】



6 前枠の取付け

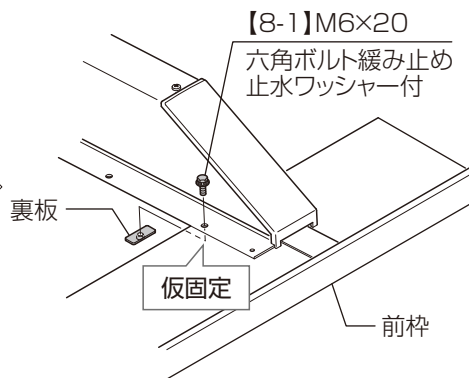
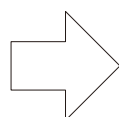
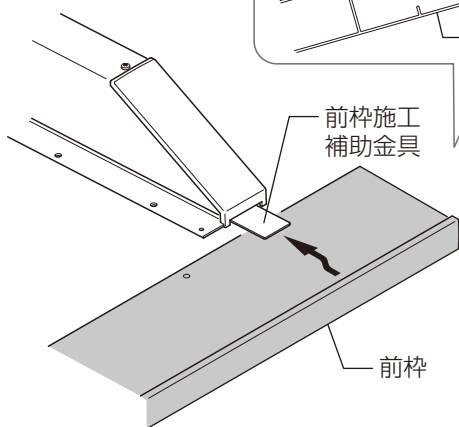


①前枠を前枠施工補助金具に引っ掛け【8-1】で仮固定してください。



お願い

着脱式サポートを取付ける場合、部材へ事前に加工する必要がありますので、着脱式サポートの取説を確認してください。

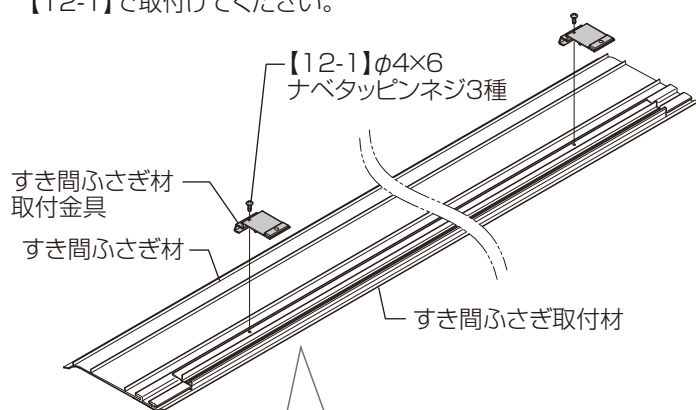


【すき間ふさぎ材】を取付ける場合の作業です。

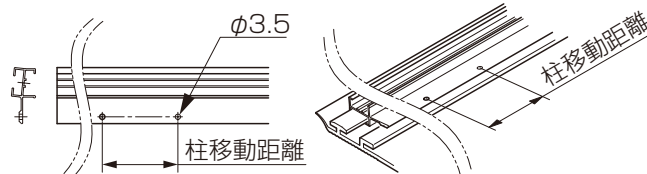
1 事前準備（すき間ふさぎ材）

●すき間ふさぎ材

①すき間ふさぎ材取付金具をすき間ふさぎ取付材に【12-1】で取付けてください。

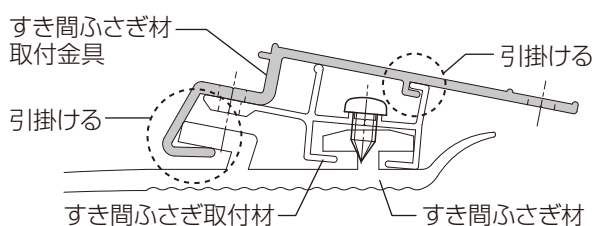


1.5間、2.0間で柱移動する場合、柱移動距離を足してください。



補 足

すき間ふさぎ材の両端部にすき間ふさぎ材取付金具を取付けるための処理です。中間部の加工は必要ありません。



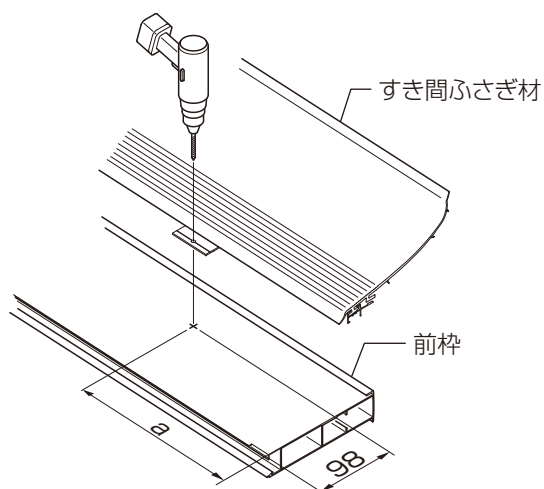
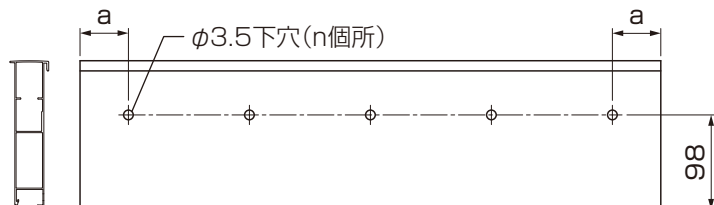


【すき間ふさぎ材】を取付ける場合の作業です。

1 事前準備（すき間ふさぎ材）（つづき）

●前枠

①すき間ふさぎ材取付金具を写し穴にして、φ3.5の下穴を加工してください。



間口	a※	n
1.5間	243.5	4
2.0間	243.5	5
2.5間	128.5	6
3.0間	128.5	7



※1.5間、2.0間で柱移動する場合、柱移動距離を足してください。

補 足

すき間ふさぎ材取付金具を取付けるための処理です。

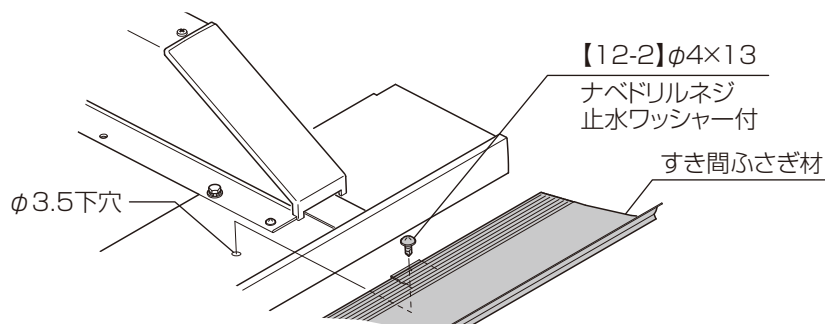


すき間ふさぎ材取付金具については、P.24も確認してください。



2 すき間ふさぎ材の取付け

①すき間ふさぎ材を前枠のフィン部に当て【12-2】で下穴に合わせて取付けてください。

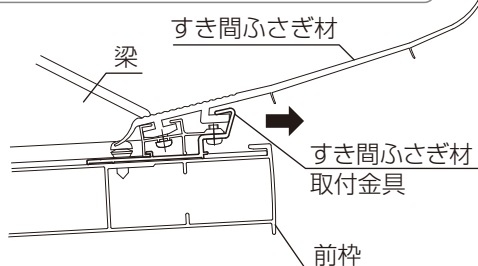


補 足

屋根材全てを取付けることで、屋根全体の重量により100±10まで接近します。

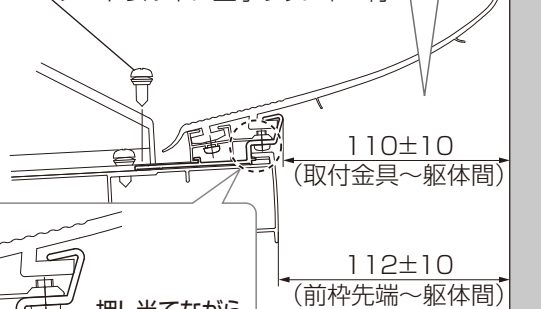
お 願 い

すき間ふさぎ材は、壁にあてがいながら取付けてください。



【12-2】φ4×13

ナベドリルネジ 止水ワッシャー付

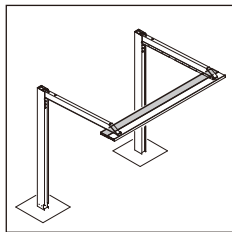


押し当てながらネジ止めしてください。

取付け後にすき間ふさぎ材を下から押し上げて、ガタつきがないことをご確認ください。

7 屋根材の取付け

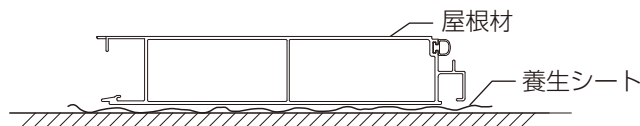
1 1～2枚目の取付け



①屋根材(1枚)を前杵に引っ掛け、裏板と【8-1】で仮固定してください。

お願い

【屋根材を仮置きする場合】
下面が意匠面となるため、養生シートの上に置いてください。



お願い

梱包の向きを確認してください。

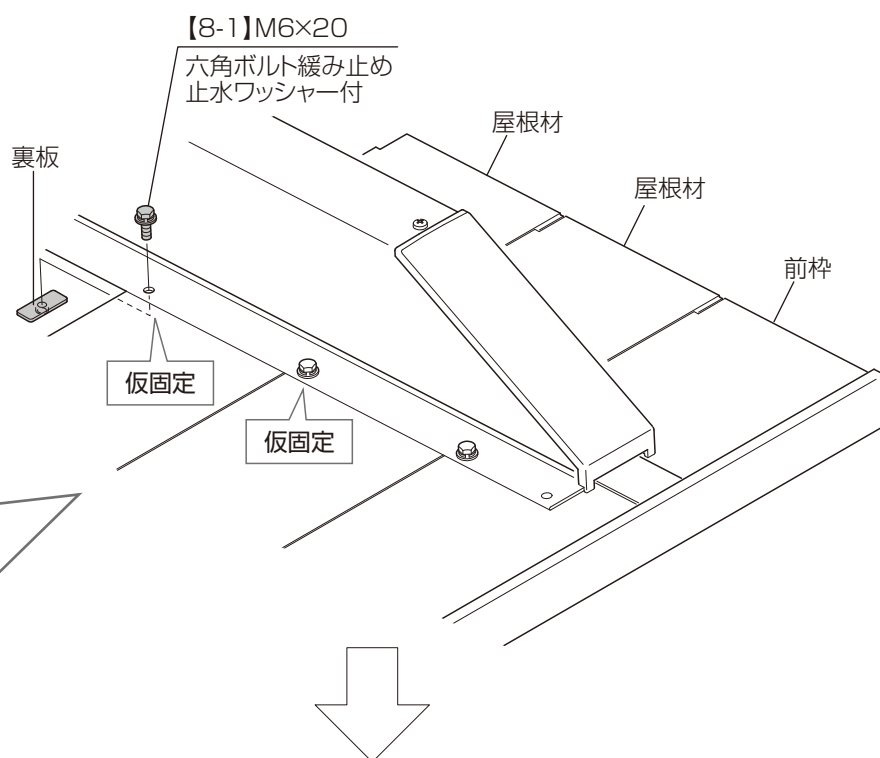
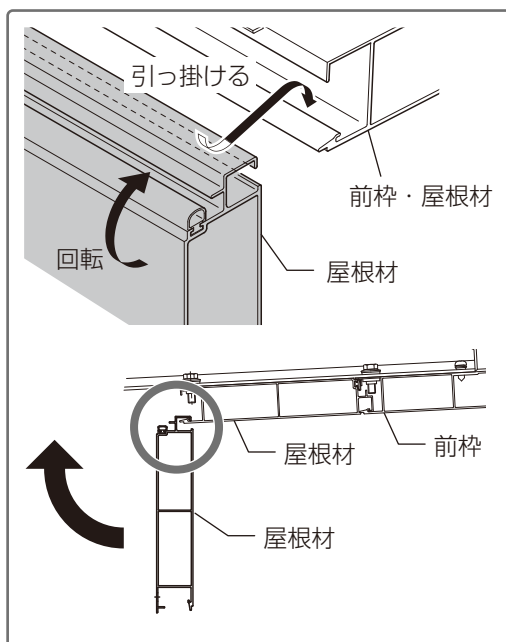


チェックポイント①

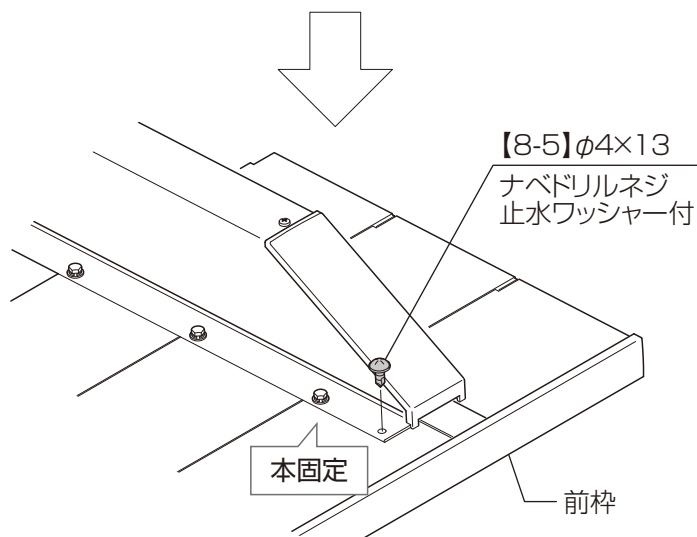
②屋根材同士を引っ掛け裏板と【8-1】で屋根材2枚目を仮固定してください。

③直角を確認し、前杵を本固定してください。

④前杵を梁に【8-5】で取付けてください。



直角の確認
(梁の先端の距離と根元の距離を確認)

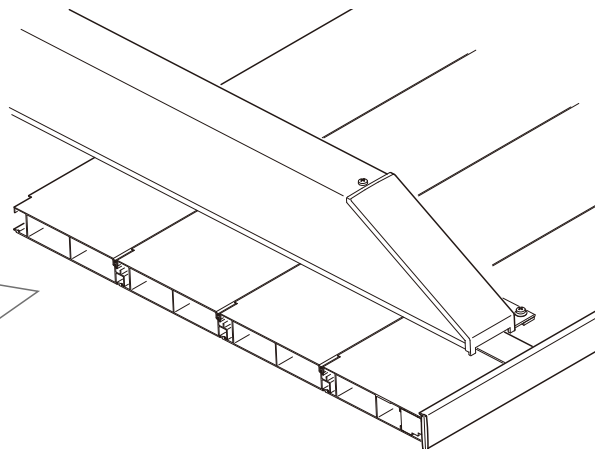
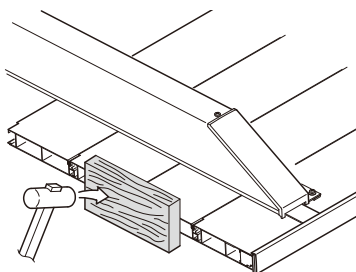
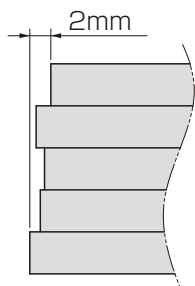


2 3枚目以降の取付け

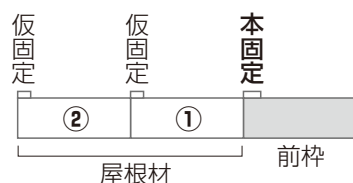
- ① 1～2枚目と同様に3枚目を【8-1】で仮固定してください。
- ② 屋根材端部がそろっていることを確認して、1枚目の屋根材を本固定してください。
- ③ 4枚目以降の屋根材も同様に取付けてください。

お願い

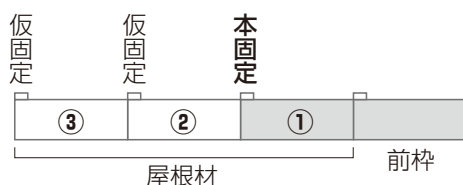
- ・ 屋根材端部は全体で±1mm（見目で気にならないよう）にそろえてください。
- ・ 端部をそろえるときはあて木をし、ハンマーでたたいてください。端部をそろえると直角になります。



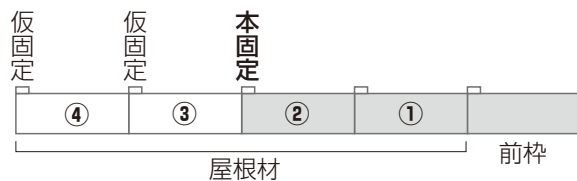
手順1



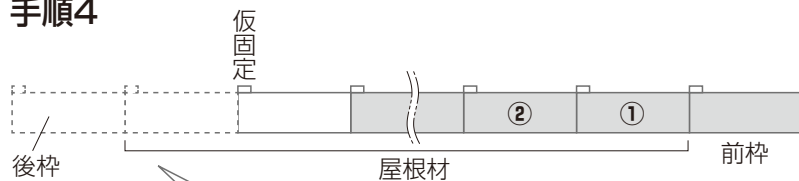
手順2



手順3



手順4



補 足

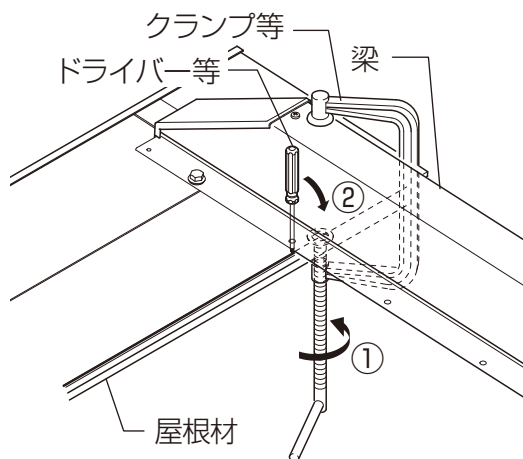
最後の屋根材を取付ける前にブラケットを本固定します。屋根材1枚分と後枠のスペースを空けておいてください。

補 足

屋根材を何枚か取付けると、穴位置がズレることがあります。ドライバー等で穴をこじると施工しやすいです。

補 足

●屋根材の保持が難しい場合



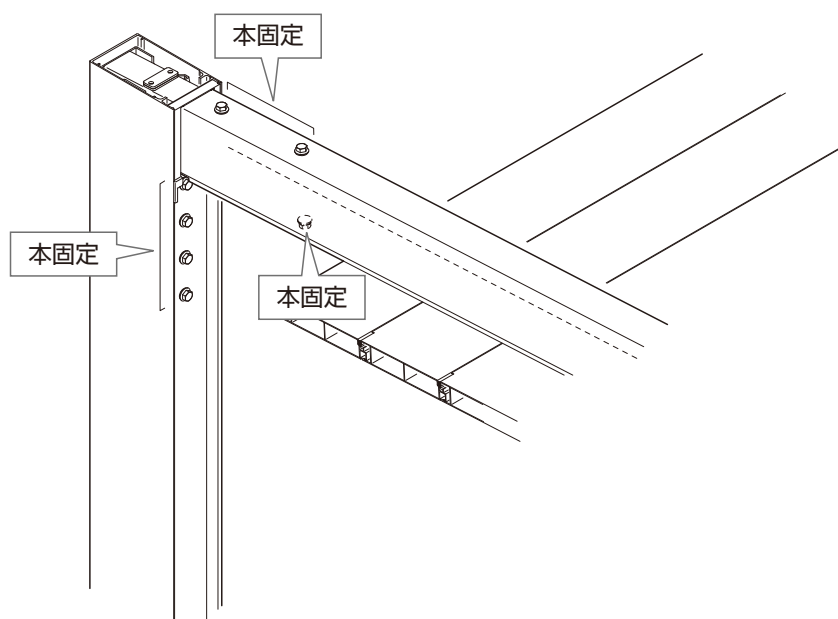
- ① 取付ける屋根材と梁をクランプ等で挟み、取付ける屋根材の穴にドライバー等を差し込んでください。
- ② クランプを締めながらドライバーを手前に引いてください。

お願い

- ・ クランプで挟む際に屋根材を締め付け過ぎないように注意してください。屋根材が変形することがあります。
- ・ クランプで挟む際に屋根材に傷がつかないように注意してください。

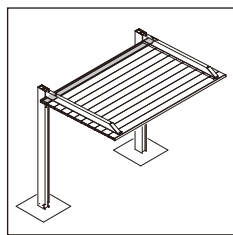
3 最後の屋根材の取付け

- ①梁・柱とブラケットに取付けたボルトを本固定してください。
- ②最後の屋根材を②と同様に【8-1】で仮固定してください。

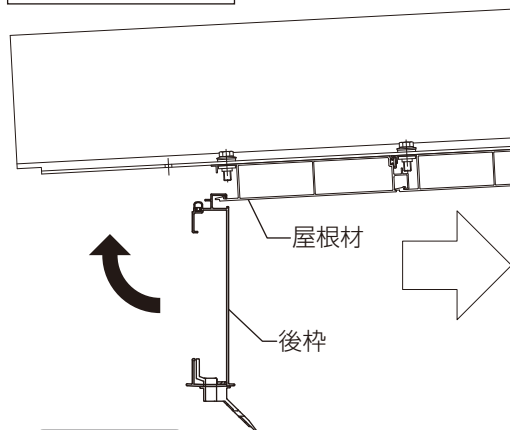


8 後枠の取付け

1 後枠の取付け

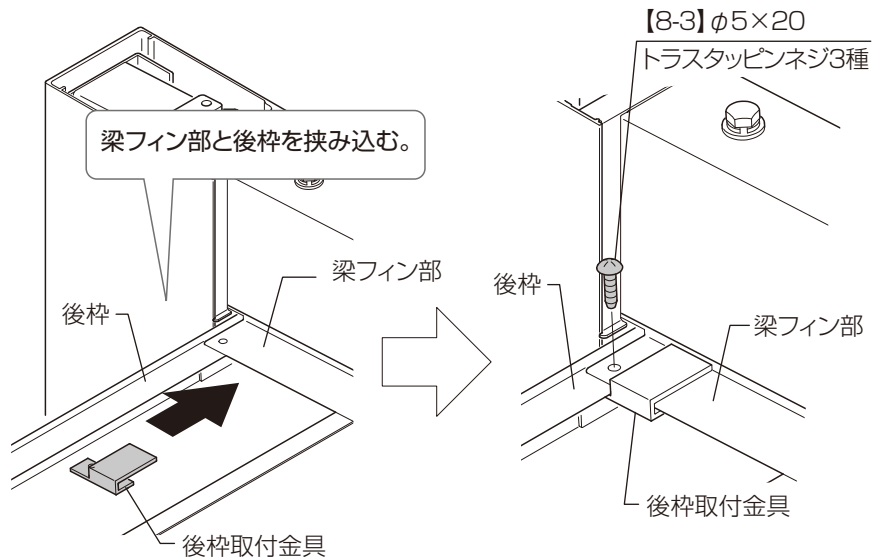
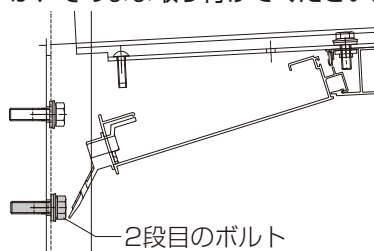


- ①後枠を屋根材に引っ掛けてください。
- ②梁フィン部と後枠を後枠取付金具で挟み、【8-3】で取付けてください。



補 足

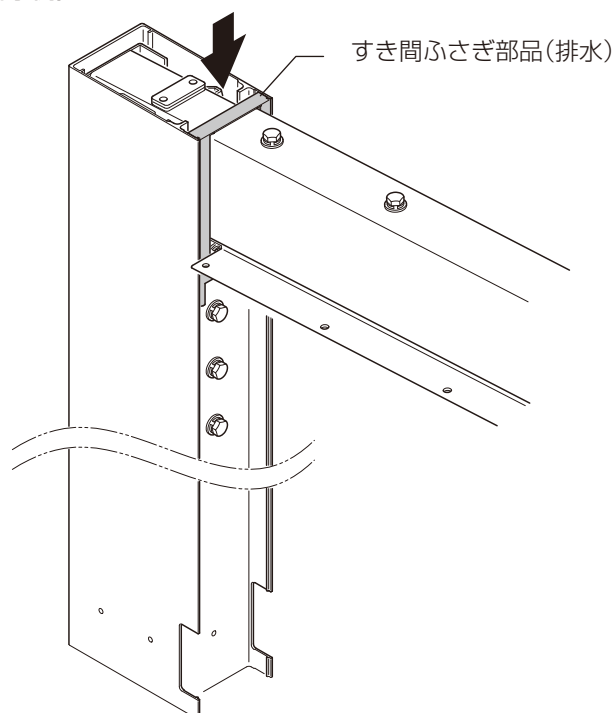
2段目のボルトに干渉する場合がありますが、そのまま取り付けてください。



2 すき間ふさぎ部品の取付け

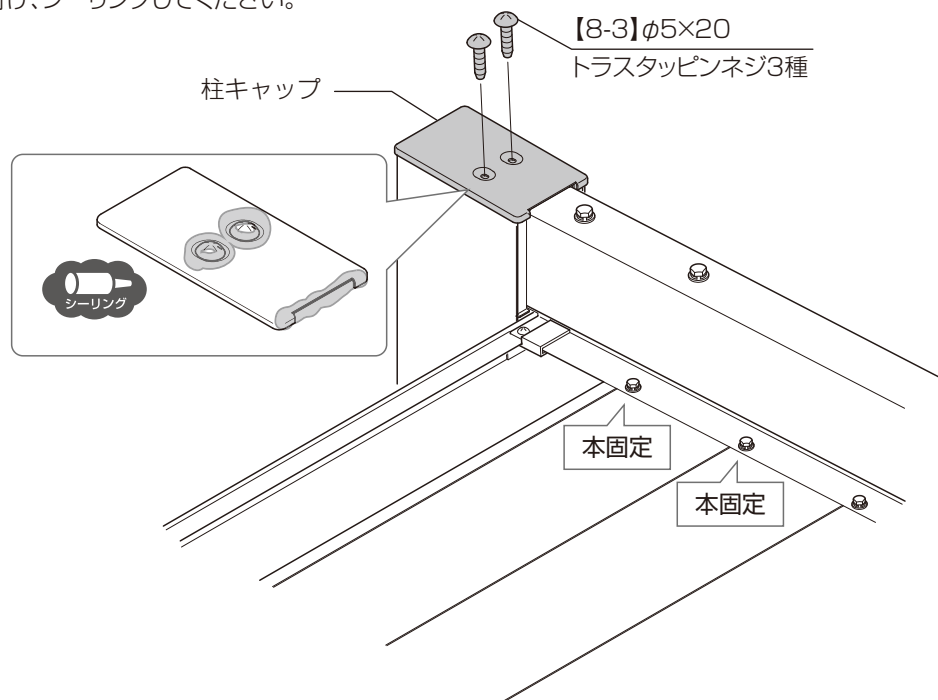
- ①すき間ふさぎ部品(排水)を奥まで差し込んでください。

●柱(排水側)



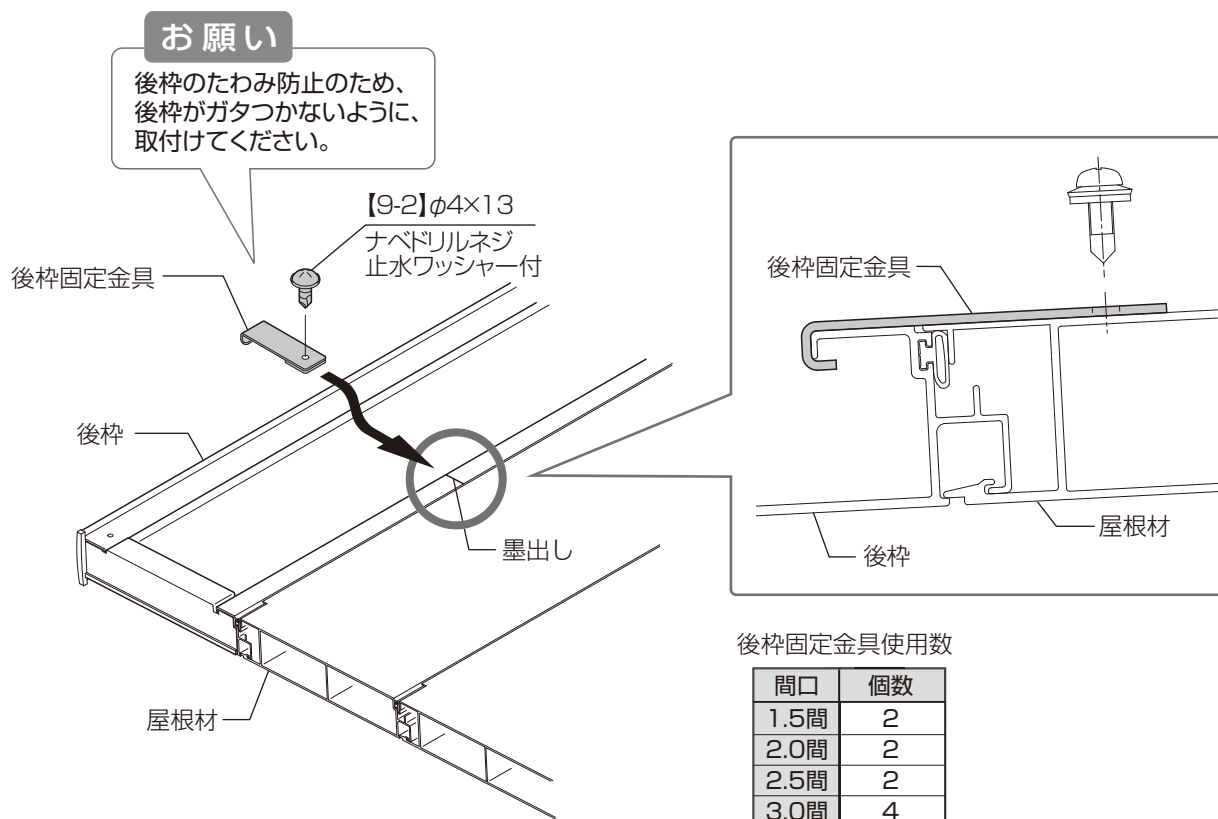
③ 柱キャップの取付け

- ① **7** **3**までに仮固定したボルトを本固定してください。
 ② 柱キャップを【8-3】で取付け、シーリングしてください。

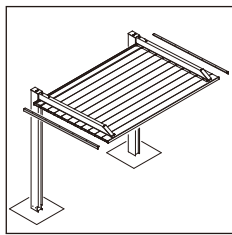


④ 後枠固定金具の取付け

- ① 後枠固定金具を **4** **2** (P.18) でつけた枠の墨出し位置に【9-2】で取付けてください。



9 側枠の取付け



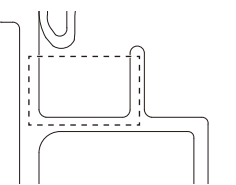
- ①前枠・屋根材の切欠き部・端部と後枠コーナーキャップ上部にシーリングしてください。
- ②水下ブロックと一緒に側枠を【9-2】で後枠側から取り付けてください。
- ③前枠コーナーキャップと側枠の隙間にシーリングしてください。
- ④後枠と側枠の隙間にシーリングしてください。

お願い

シーリングはヘラ等で押えて密着させてください。

注意

破線部分にシーリングしないようにしてください。



端部にもシーリングをしてください。



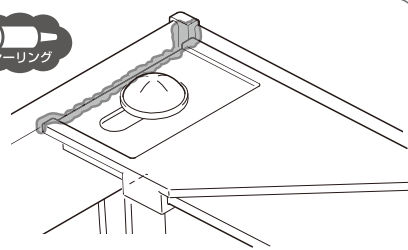
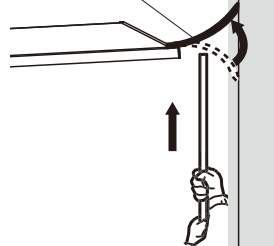
補足

すき間ふさぎ材を取付ける場合
すき間ふさぎ材を下から押し上げ、
側枠を取付けてください。



チェックポイント⑦

躯体すき間ふさぎ材

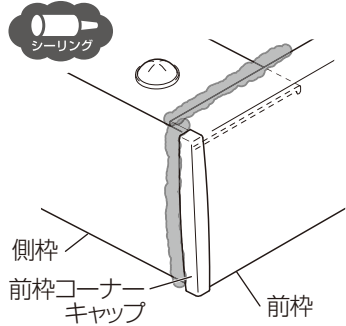


【9-2】φ4×13
ナベドリルネジ
止水ワッシャー付

側枠

【9-2】φ4×13
ナベドリルネジ
止水ワッシャー付

側枠



側枠
前枠コーナー
キャップ
前枠

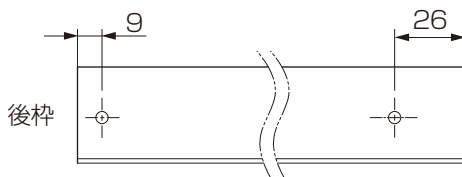
【9-2】φ4×13
ナベドリルネジ
止水ワッシャー付

水下ブロック

後枠

後枠
コーナーキャップ

側枠



後枠

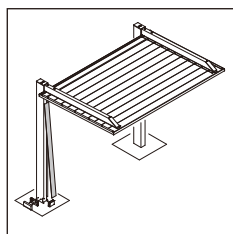
前枠

補足

後枠の加工穴を基準に
前枠に向かって
取付けてください。

側枠には右用・左用があります。
向きに注意してください。

10 柱カバー・排水部品の取付け

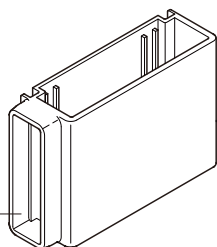


- ①排水部品Bを排水部品Aの下部にはめ込んでください。
- ②排水部品Aと排水部品Bの接合部にシーリングしてください。

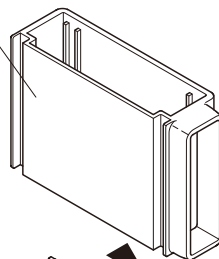
排水部品A

排水の向きに合わせて、排水部品Aの向きを変えることができます。

排水口

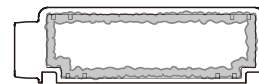


排水部品A



排水部品B

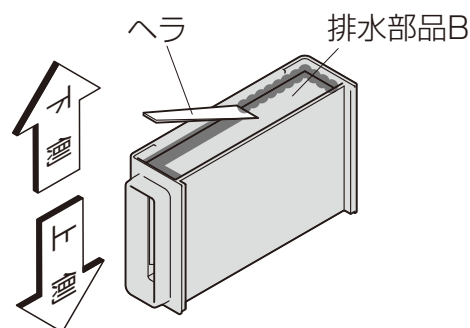
シーリング



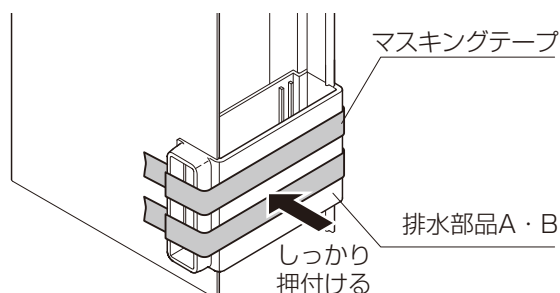
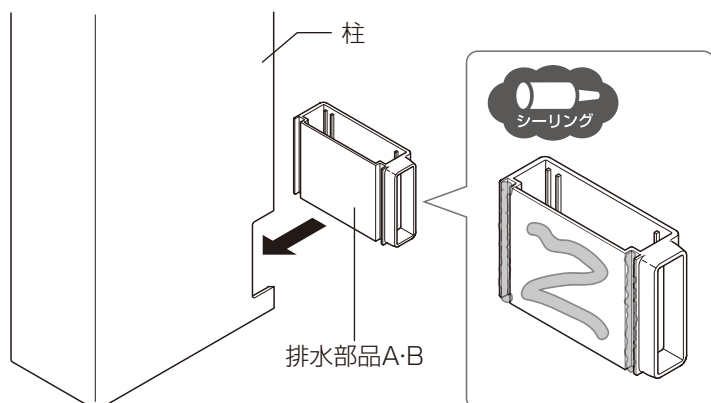
下から見る

お願い

排水部品Bはシーリング材で固定します。シーリングした後、ヘラなどでシーリング材を隙間なくのばしてください。シーリング材がしっかり乾いてから取付けてください。



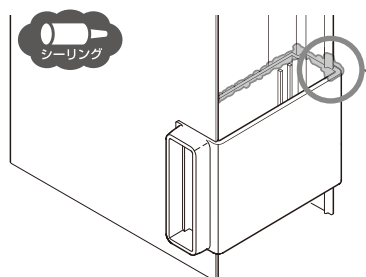
- ③排水部品の背面にシーリングし、柱に貼付けてください。
- ④排水部品をマスキングテープで固定してください。



お願い

排水部品を接着させるため、シーリング材は十分に塗布してください。シーリング材がしっかり乾いてからマスキングテープをはがしてください。

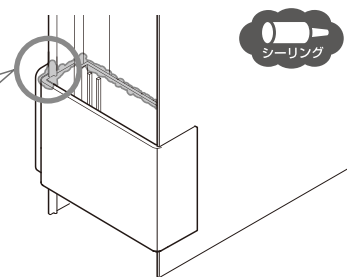
- ⑤排水部品内側にシーリングしてください。



左側から見る

お願い

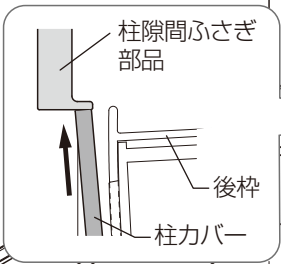
柱カバーを差込んだときに、シーリング材が途切れないように柱カバー側の角部にシーリング材を多めに塗布してください。



右側から見る

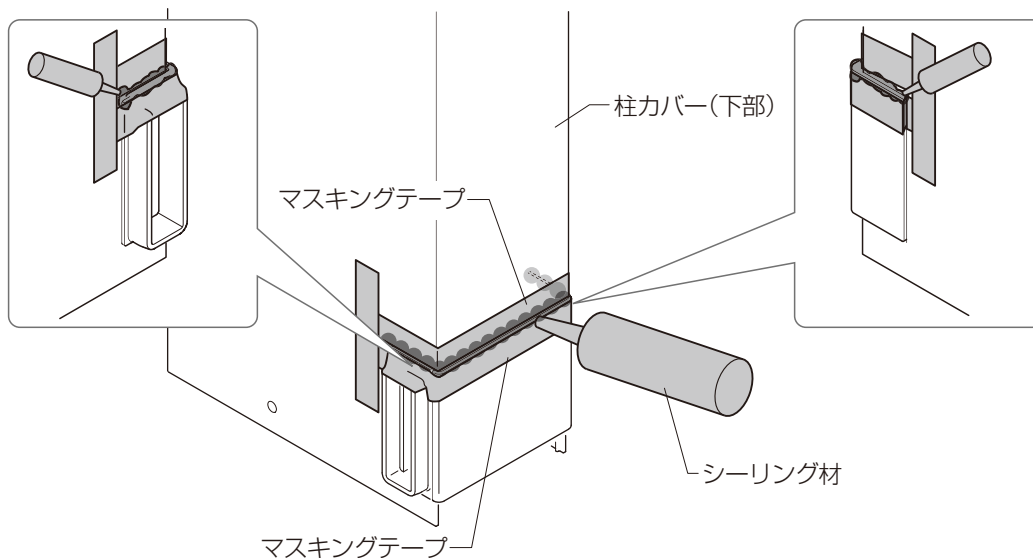
10

⑦排水部品と柱カバーの接合部にシーリングしてください。

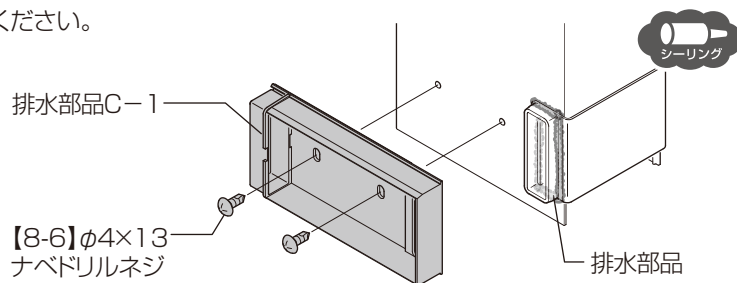


補 足

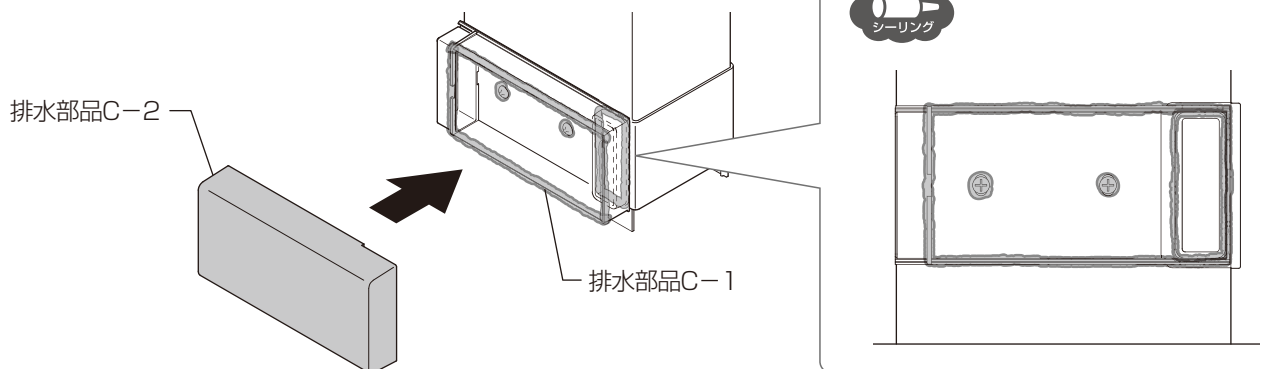
排水部品が柱にしっかり固定されていて、シーリング材が乾いていることを確認してください。柱や柱カバーにシーリング材がつかないようにマスキングテープで保護してください。



⑧排水部品にシーリングをして、排水部品C-1を【8-6】で取付けてください。

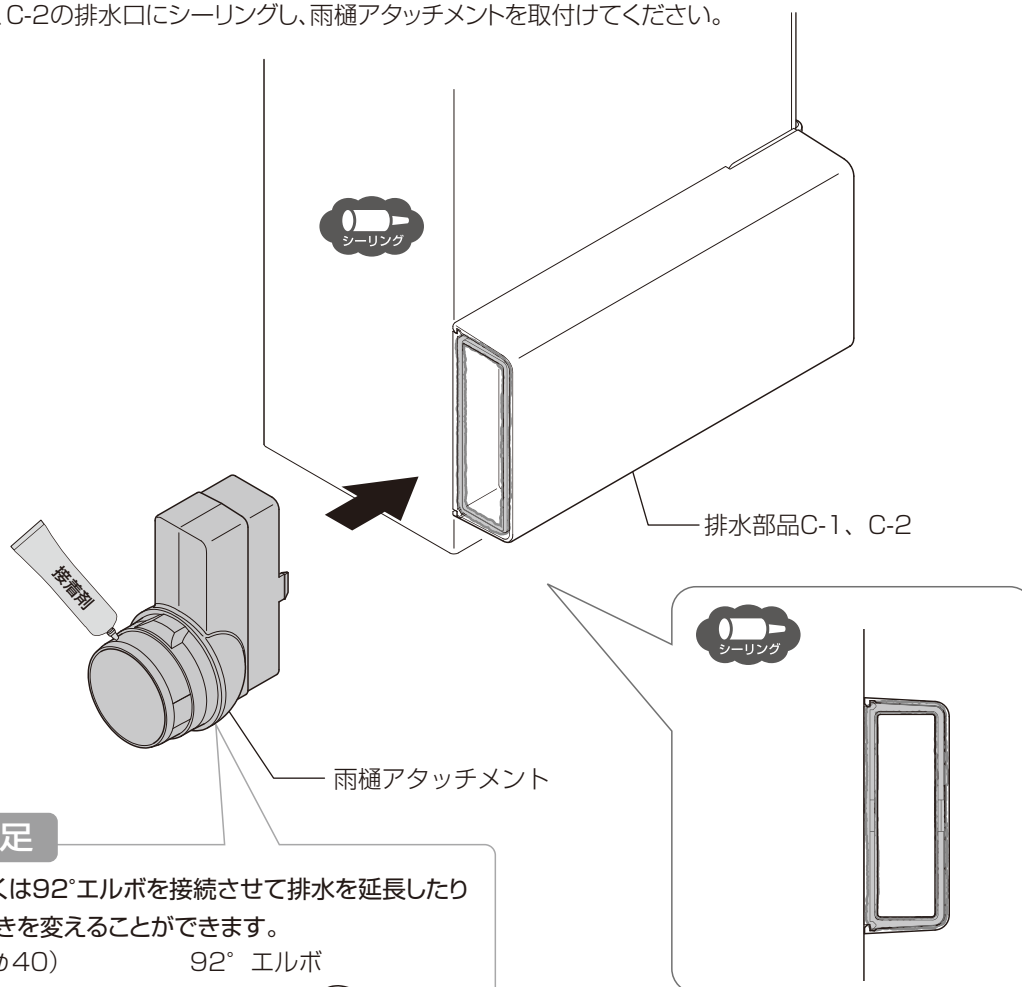


⑨排水部品C-1にシーリングをし、排水部品C-2を排水部品C-1に取付けてください。



□ 雨樋アタッチメントの取付け OP オプション

①排水部品C-1、C-2の排水口にシーリングし、雨樋アタッチメントを取付けてください。

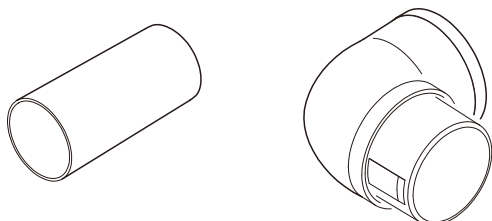


補 足

丸樋もしくは92°エルボを接続させて排水を延長したり排水の向きを変えることができます。

丸樋 (φ40)

92° エルボ



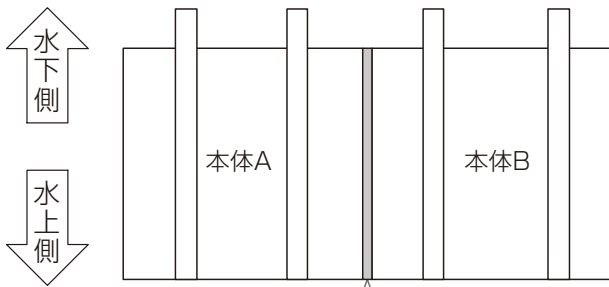
連棟タイプの施工



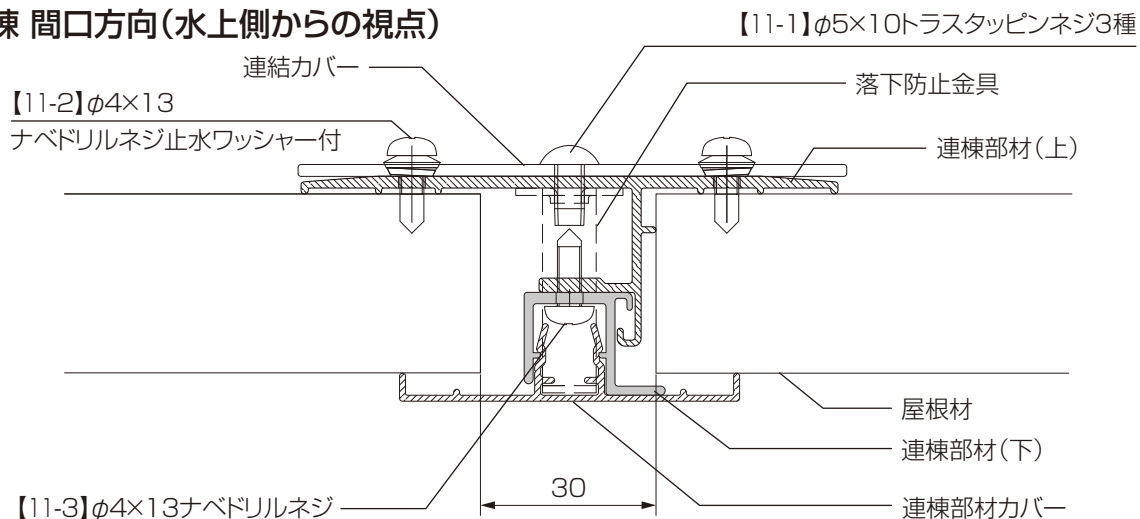
柱移動の場合の
作業です。



【連棟】の場合の
作業です。



●連棟 間口方向(水上側からの視点)



□ 施工の流れ

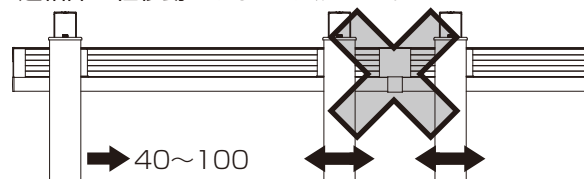
柱の建て込み準備	柱の建て込み	事前準備	1 事前準備
P.16 基本タイプ P.16を事前に確認してください。	P.17 基本タイプ P.17を事前に確認してください。	P.18 基本タイプ P.18を事前に確認してください。	P.39 P.39を参照してください。基本タイプ P.18も事前に確認してください。
ブラケットと梁の取付け P.22 基本タイプ P.22を事前に確認してください。	2 屋根部(1台目)の取付け P.24~ P.40を参照してください。基本タイプ P.24~も事前に確認してください。	3 前枠(2台目)の取付け P.24 P.40を参照してください。基本タイプ P.24も事前に確認してください。	4 連棟部材(上)の取付け P.40を参照してください。
5 屋根部(2台目)の取付け P.26 P.46を参照してください。基本タイプ P.26~も事前に確認してください。	6 連棟部材の取付け P.47を参照してください。		

姿図

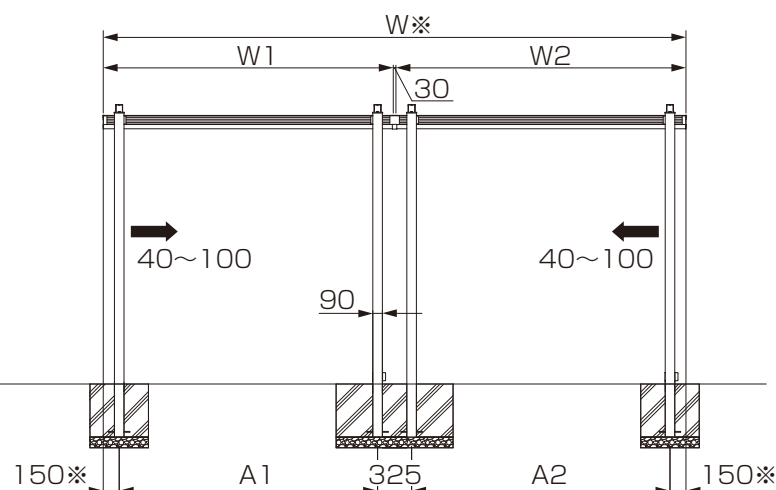
OP
オプション



柱芯々寸法は内側100mm以内で柱移動してください。
ただし、柱内側40mmの範囲は移動できません。
※他の部材と干渉するため、取付け不可となります。
※連結部の柱移動はしないでください。



出幅	D
4尺	1208
5尺	1505
6尺	1803
7尺	2101



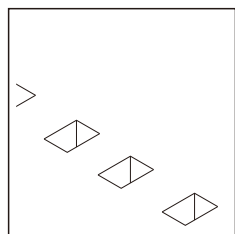
		A1	A2	W1	W2	W
間口	1.5間+1.5間	2430	2430	2727.5	2727.5	5485
	1.5間+2.0間	2430	3340	2727.5	3637.5	6395
	2.0間+2.0間	3340	3340	3637.5	3637.5	7305

出幅	D
4尺	1208
5尺	1505
6尺	1803
7尺	2101

[illegible]

		A1	A2	W1	W2	W	B1	B2	C
間口	1.5間+2.5間	2430	3340	2727.5	4547.5	7305	150	605	780
	1.5間+3.0間	2430	3340	2727.5	5457.5	8215	150	1060	1235
	2.0間+2.5間	3340	3340	3637.5	4547.5	8215	150	605	780
	2.0間+3.0間	3340	3340	3637.5	5457.5	9125	150	1060	1235
	2.5間+2.5間	3340	3340	4547.5	4547.5	9125	605	605	1235
	2.5間+3.0間	3340	3340	4547.5	5457.5	10035	605	1060	1690
	3.0間+3.0間	3340	3340	5457.5	5457.5	10945	1060	1060	2145

□ 基礎の墨出し



【通常基礎の基礎寸法数値について】
通常基礎の基礎寸法は『P.15』を
参照してください。



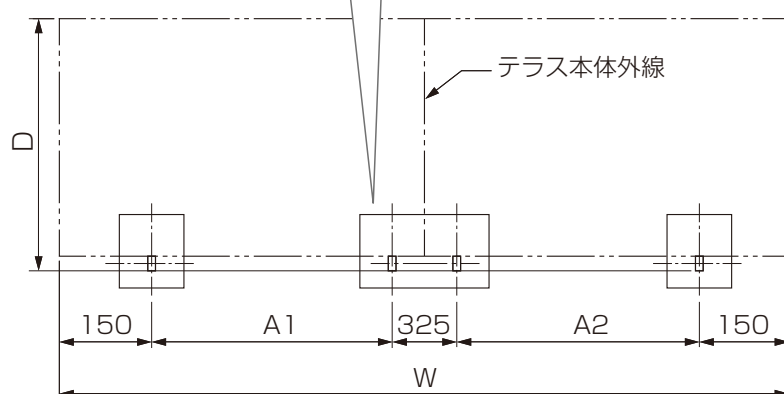
下記のオプションを取付ける場合は、対応した
取付説明書を併せて参照してください。

「SC テラスSC 照明 取付説明書(N006)」

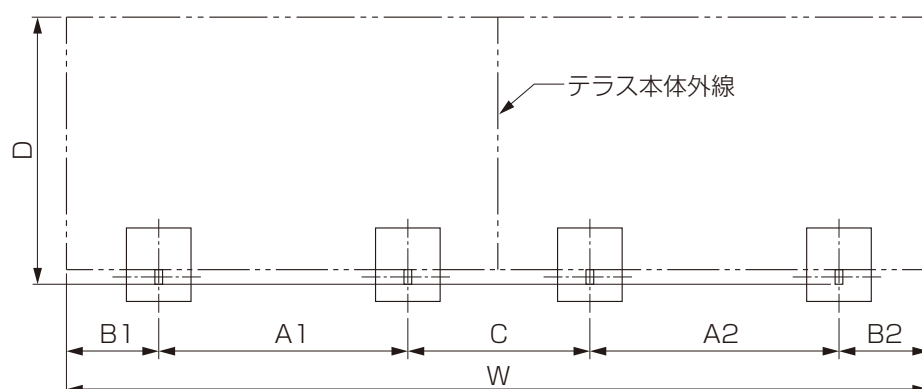
■ 1.5間、2.0間

お願い

連結部の基礎寸法は、次ページを参照ください。



■ 2.5間、3.0間

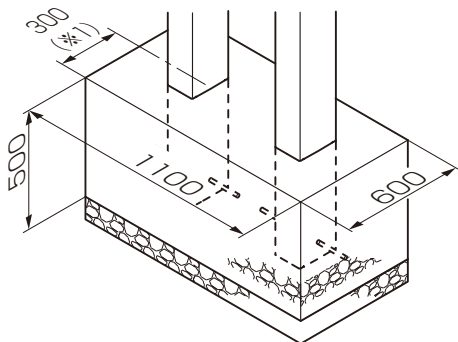


A1・A2・B1・B2・C・D寸法は、
P.36を参照してください。

■基礎寸法の確認（連結部）



【独立基礎仕上げ】の場合の作業です。



P.15



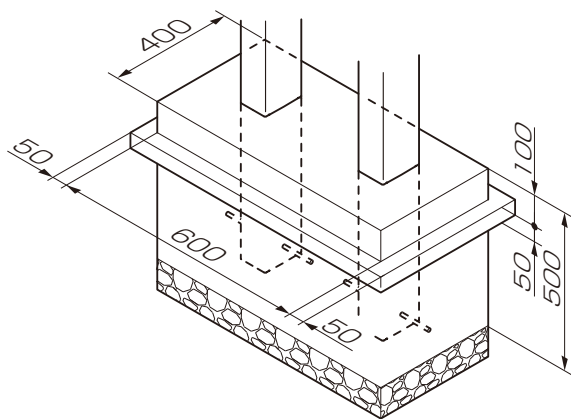
【通常基礎の基礎寸法数値について】
通常基礎の基礎寸法は『P.15』を
参照してください。

補 足

(※1) は柱芯から基礎端面までの寸法です。

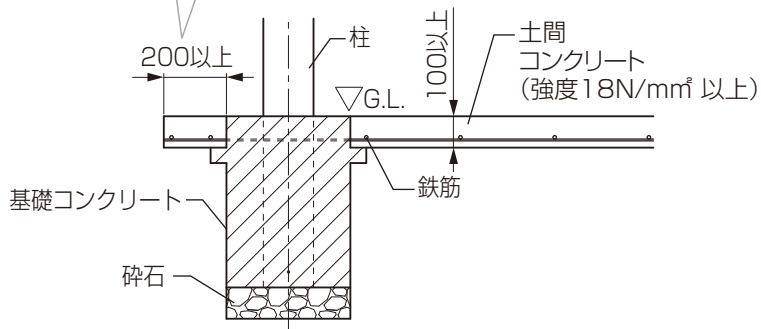


【土間コンクリート仕上げ基礎】の場合の作業です。



お 願 い

基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上に
なるようにしてください。



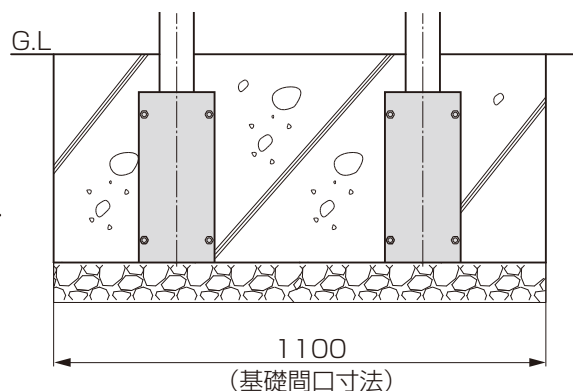
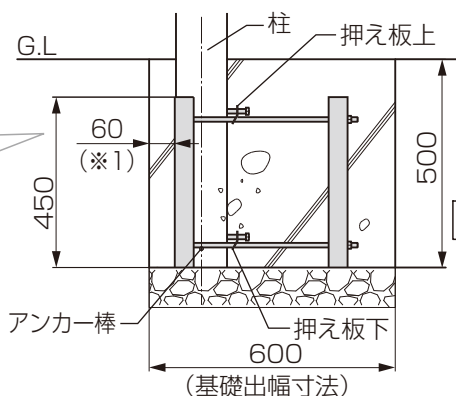
【偏心基礎部材】を取付ける場合の作業です。



組立て方法、基礎寸法については
【偏心基礎部材 取付説明書 (D349)】も参照してください。

補 足

※1はタテ材Aの
外面から基礎端面
の寸法です。



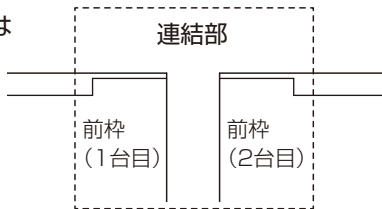
1 事前準備

1 前枠の加工

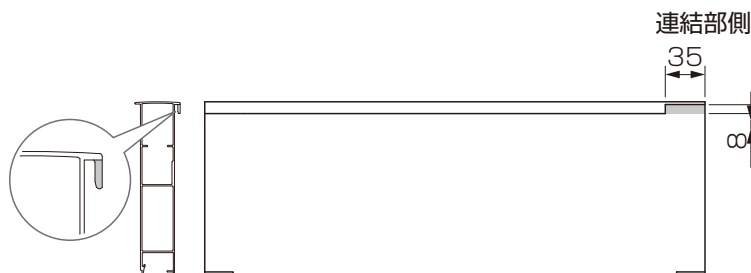
①前枠の連結部側のフィンを切欠いてください。

お願い

1台目と2台目では切欠きが対称になりますのでご注意ください。

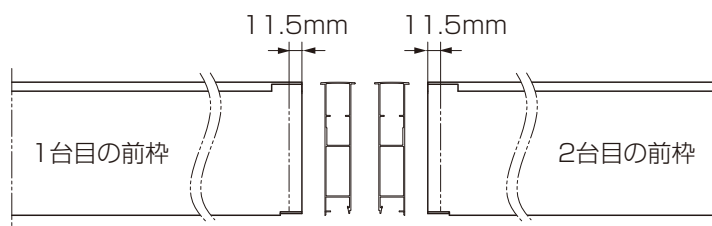
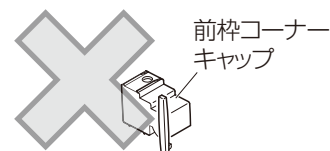


②連棟部材を取付ける側の端部から11.5mmの位置にケガキを入れてください。



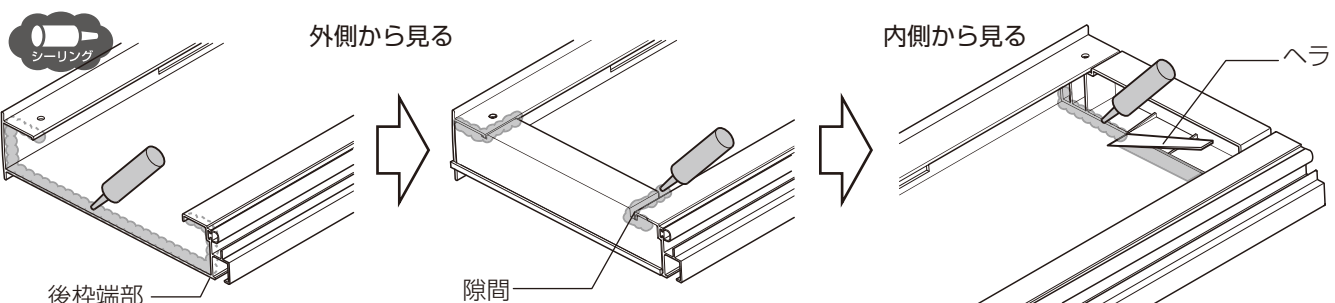
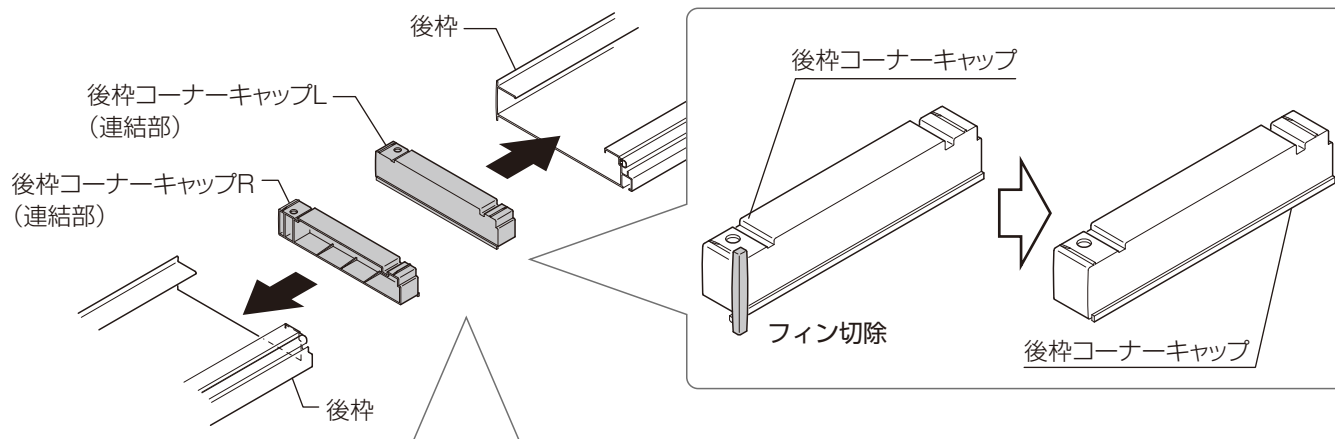
お願い

前枠コーナーキャップは、連結部には取付けないでください。



2 後枠への部品の取付け

- ①連結部に取付ける後枠コーナーキャップL、Rのフィンを切除してください。
- ②後枠連結部にシーリング材を塗布してください。
- ③後枠コーナーキャップを連結部に差し込んでください。
- ④後枠コーナーキャップを取付け後に、外側から隙間にシーリング材を塗布してください。
- ⑤内側からはみ出したシーリング材をヘラでならしてください。



お願い

後枠コーナーキャップを差込んだときに、シーリング材が途切れないようにシーリング材を多めに塗布してください。

お願い

内側に溜まったシーリング材を、隙間なくヘラでならしてください。シーリング材が溜まっていない場合は、内側からシーリング材を塗布してください。

2 屋根部(1台目)の取付け

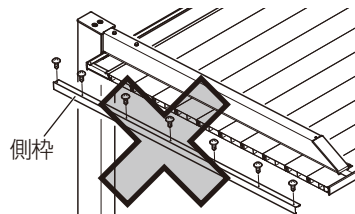


基本タイプの施工 P.24~を参照してください。

- ①基本タイプ **6** ~ **9** の施工方法を参照して取付けてください。

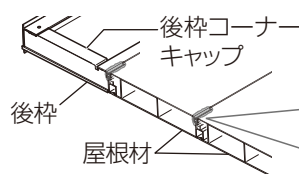
お願い

側枠は、連結部には取付けないでください。



お願い

1台目の後枠・屋根材の切欠き部と端部のシーリングを忘れずにしてください。

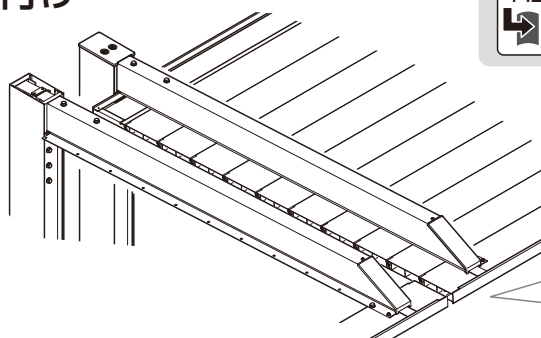


3 前枠(2台目)の取付け

- ①基本タイプ **6** の施工方法を参照して取付けてください。

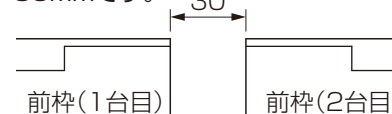


基本タイプの施工 P.24を参照してください。



補足

1台目と2台目の枠どうしの隙間は30mmです。



4 連棟部材(上)の取付け

- ①後枠コーナーキャップの上部にシーリングしてください。
- ②連棟部材(上)を1台目の後枠の加工穴に【12-2】で取り付けください。
- ③連棟部材(上)の前枠固定用の穴の中央に前枠のケガキ線がくるように位置を調整してください。
- ④1台目と2台目の前枠のケガキ線上に連棟部材(上)を【12-2】で取り付けてください。
- ⑤1台目の屋根材に連棟部材(上)を【12-2】で取り付けてください。



下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

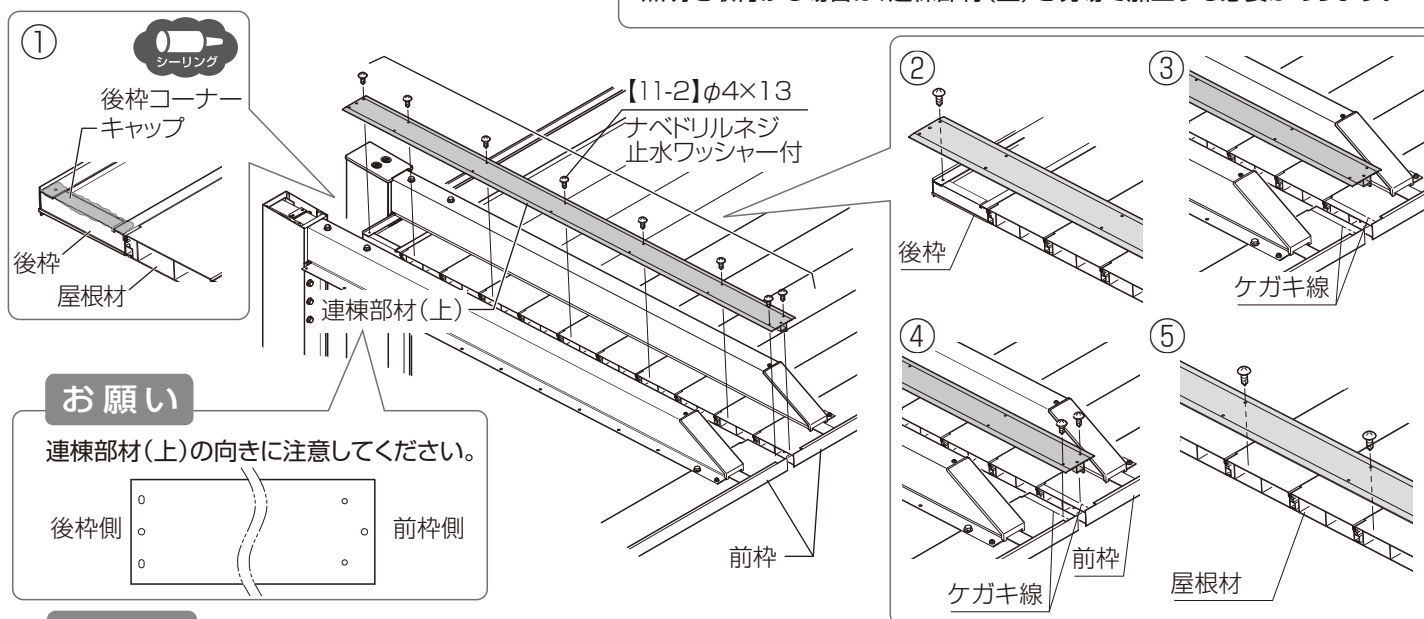
「テラスSC 照明 取付説明書(N006)」

補足

- 後枠側の加工穴を基準に取り付けてください。
- 先に後枠を固定し、前枠を固定することで連棟部材の位置出しをすることができます。

お願い

照明を取付ける場合は、連棟部材(上)を現場で加工する必要があります。



お願い

連棟部材(上)の向きに注意してください。

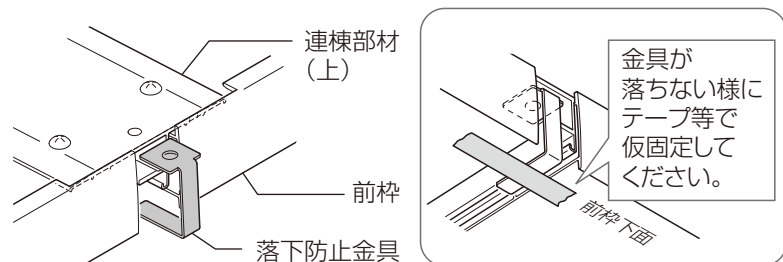
後枠側 前枠側

お願い

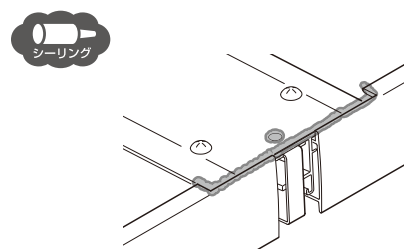
照明を取り付ける場合、事前に連棟部材の切り欠き加工が必要となります。
連棟部材の切り欠き加工については「テラスSC 照明 取付説明書(N006)」の<連棟部の施工>を参照してください。

4 連棟部材(上)の取付け (つづき)

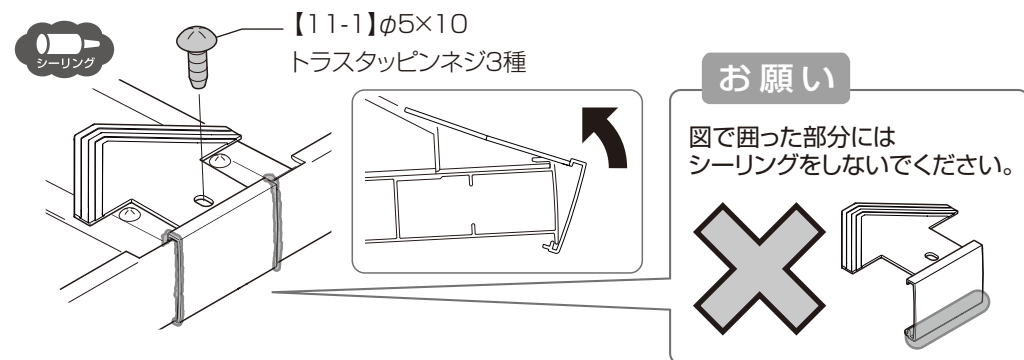
②落下防止金具を連棟部材に差込んでください。



③連棟部材(上)の端部と加工穴にシーリングをしてください。



④連結力バーを【11-1】で取付けてシーリングをしてください。



OP
オプション

【すき間ふさぎ材】を取付ける場合の作業です。

取付概要 (すき間ふさぎ材)

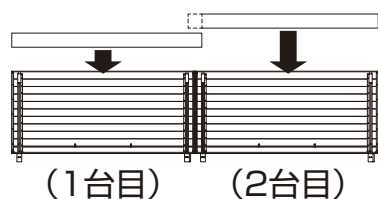
パターンA：2台目のすき間ふさぎ材は本体より1サイズ大きいものをカットして取付けます。

パターンB：1台目のすき間ふさぎ材は本体より1サイズ大きいものをカットして取付けます。

パターンC：各3.0間用すき間ふさぎ材をカットせず、連棟部へ寄せて取付けます。

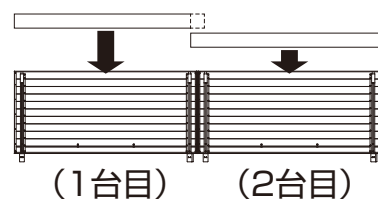
【パターンA】

2台目のすき間ふさぎ材をカット



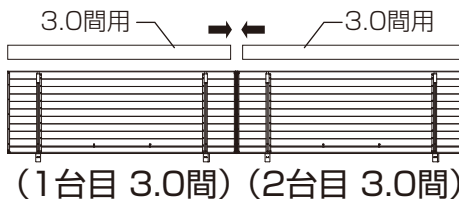
【パターンB】

1台目のすき間ふさぎ材をカット



【パターンC】

3.0間用すき間ふさぎ材を連棟部へ寄せる



1 事前準備 (すき間ふさぎ材)

本体サイズごとの加工パターンを右表で確認してください。

パターンによりすき間ふさぎ材、すき間ふさぎ取付材、前枠への加工が変わります。

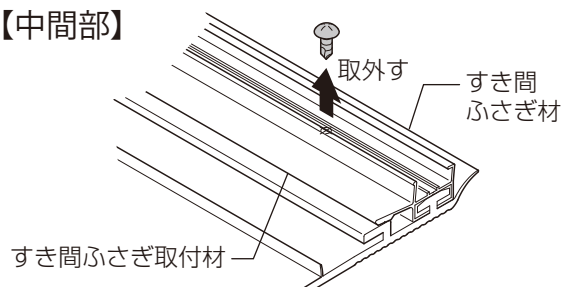
加工パターン

		2台目			
		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
1台目	1.5間	パターンA			パターンB
	2.0間				
	2.5間				パターンC
	3.0間				

①中間部に取付けているネジを外し、

すき間ふさぎ材をすき間ふさぎ取付材から外してください。

【中間部】





【すき間ふさぎ材】を取付ける場合の作業です。

1 事前準備 (すき間ふさぎ材) (つづき)

②すき間ふさぎ材の切断、切欠き加工、すき間ふさぎ取付材の切断・穴加工をしてください。

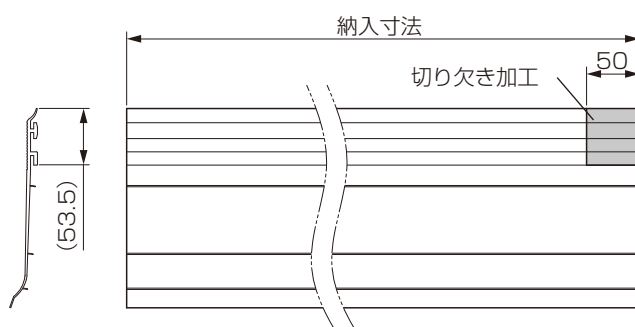
お願い



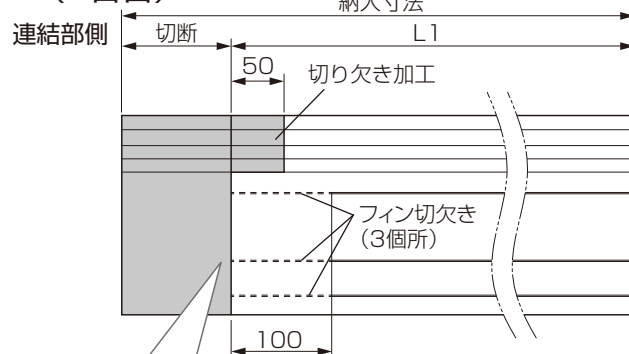
P.41の加工パターンを事前に確認してください。

【パターンA】

●すき間ふさぎ材 (1台目)



(2台目)



		1台目				2台目		
本体間口サイズ		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	1.5間	2.0間	2.5間
躯体すき間ふさぎ材セット 間口サイズ		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	2.0間	2.5間	3.0間
すき間ふさぎ材	納入寸法	2660	3570	4480	5390	3570	4480	5390
	L1	—	—	—	—	2855	3765	4675

カッターなどで連結部側の
フィンを切欠いてください。

拡大図

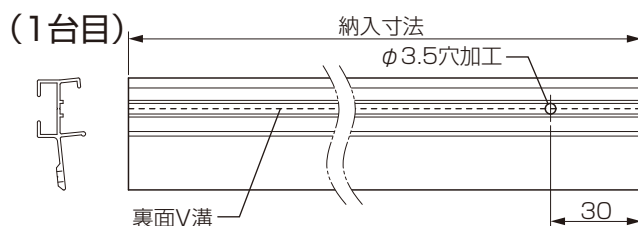
補 足

すき間ふさぎ材重なり部の浮きを
小さくするための処理です。

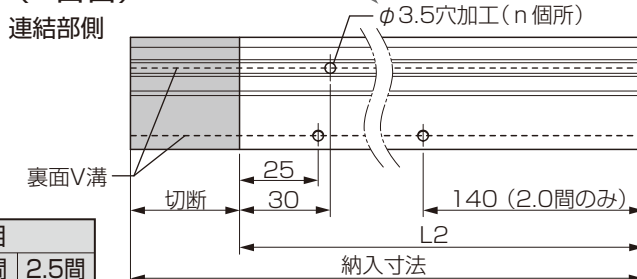


納まりについては、
P.45も確認してください。

●すき間ふさぎ取付材



(2台目)



補 足

間口サイズにより、既存の穴での固定が
可能であるため、穴加工数に違いがあります。

		1台目				2台目		
本体間口サイズ		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	1.5間	2.0間	2.5間
躯体すき間ふさぎ材セット 間口サイズ		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	2.0間	2.5間	3.0間
すき間ふさぎ 取付け材	納入寸法	2518	3428	4338	5248	3428	4338	5248
	L2	—	—	—	—	2584	3494	4404
	n	—	—	—	—	2	3	1



柱移動する場合は、
P.20を確認し、
加工位置を変更してください。



【すき間ふさぎ材】を取付ける場合の作業です。

1 事前準備（すき間ふさぎ材）（つづき）

お願い



P.41の加工パターンを事前に確認してください。

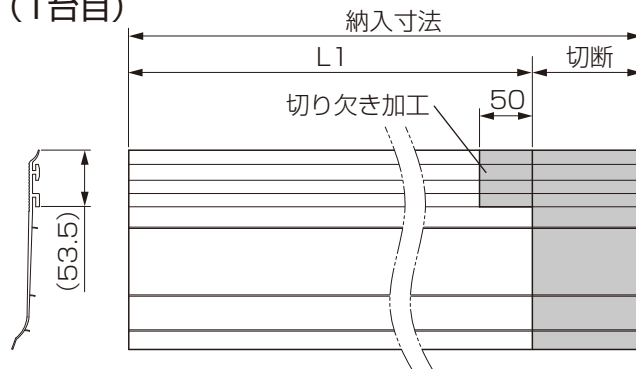
【パターンB】

補 足

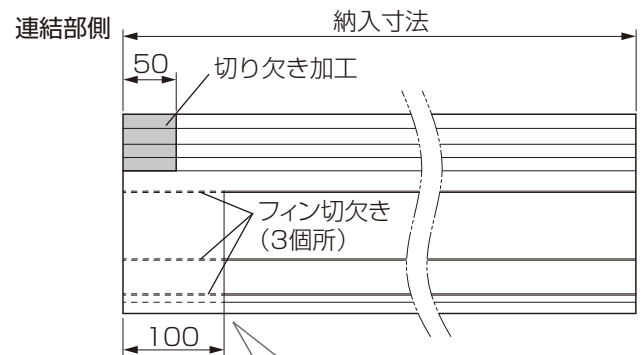
1台目は本体より1サイズ大きい躯体すき間ふさぎ材セットを使用します。

●すき間ふさぎ材

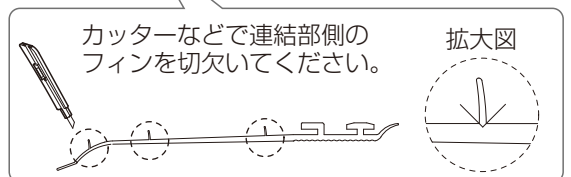
(1台目)



(2台目)



		1台目			2台目
本体間口サイズ		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
躯体すき間ふさぎ材セット間口サイズ		2.0間	2.5間	3.0間	—
すき間ふさぎ材	納入寸法	3570	4480	5390	5390
	L1	2855	3765	4675	—



補 足

すき間ふさぎ材重なり部の浮きを小さくするための処理です。



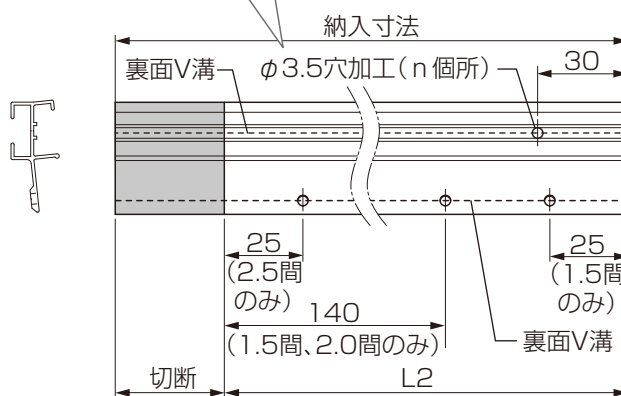
納まりについては、P.45も確認してください。

●すき間ふさぎ取付材

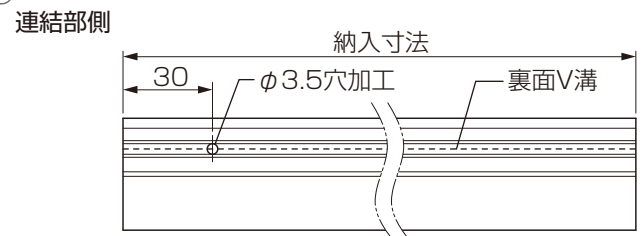
補 足

間口サイズにより、既存の穴での固定が可能であるため、穴加工数に違いがあります。

(1台目)



(2台目)



		1台目			2台目
本体間口サイズ		1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
躯体すき間ふさぎ材セット間口サイズ		2.0間	2.5間	3.0間	—
すき間ふさぎ取付材	納入寸法	3428	4338	5248	5248
	L2	2584	3494	4404	—
	n	3	2	2	—



柱移動する場合は、P.20を確認し、加工位置を変更してください。



【すき間ふさぎ材】を取付ける場合の作業です。

1 事前準備 (すき間ふさぎ材) (つづき)

お願い

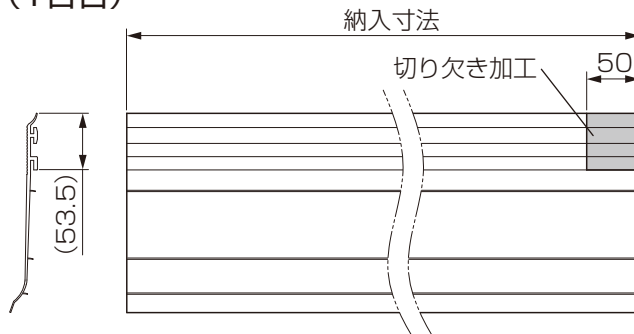


P.41の加工パターンを事前に確認してください。

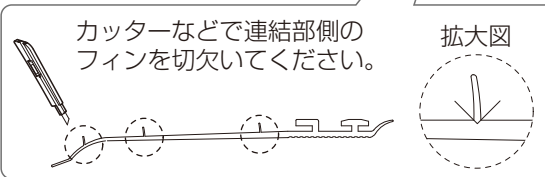
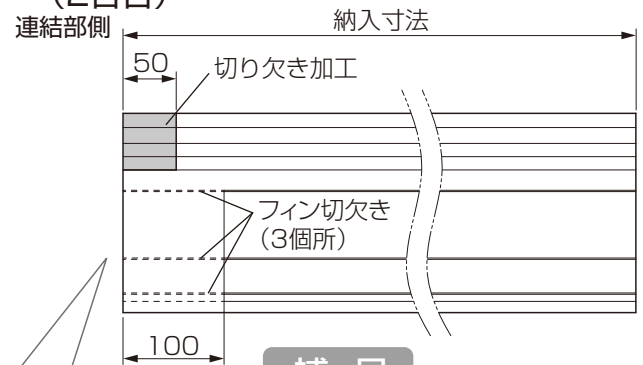
【パターンC】

●すき間ふさぎ材

(1台目)



(2台目)



補足

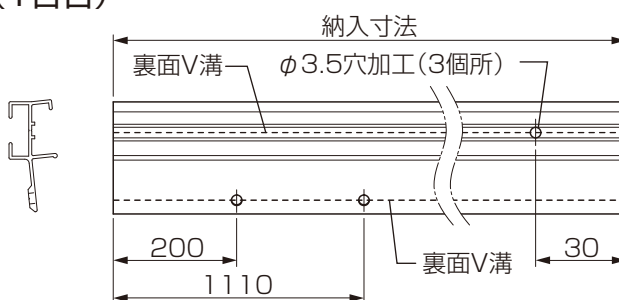
すき間ふさぎ材重なり部の浮きを小さくするための処理です。



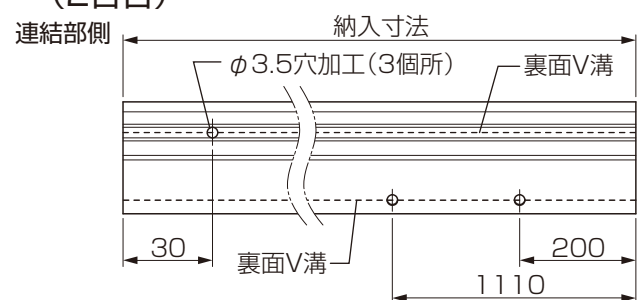
納まりについては、P.45も確認してください。

●すき間ふさぎ取付材

(1台目)

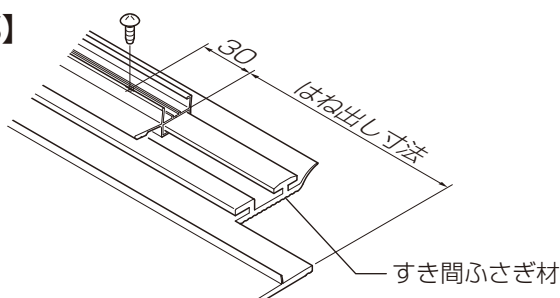


(2台目)



③①で取外したネジを取付けてください。

【連結側端部】



加工パターン	はね出し寸法	
	1台目	2台目
パターンA	71	200
パターンB	200	71
パターンC	105	105

④基本タイプP.24の施工方法を参照して、すき間ふさぎ材取付金具を取付けてください。

お願い

すき間ふさぎ材を取付ける場合、追加加工した穴の近くに、既存の穴がある場合があります。追加加工した穴にすき間ふさぎ材取付金具を取付けてください。



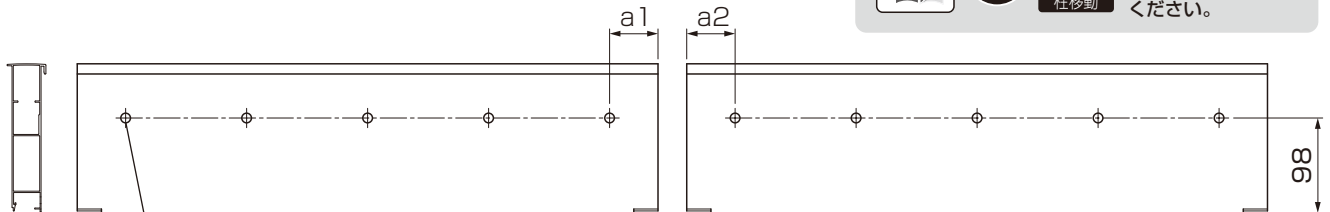
【すき間ふさぎ材】を取付ける場合の作業です。

●前枠

①すき間ふさぎ材取付金具を写し穴にして、 $\phi 3.5$ の下穴を加工してください。

(1台目)

(2台目)



$\phi 3.5$ 下穴

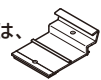
(1.5間：4箇所)
(2.0間：5箇所)
(2.5間：6箇所)
(3.0間：7箇所)

補 足

すき間ふさぎ材取付金具を取付けるための処理です。



すき間ふさぎ材取付金具については、P.24も確認してください。



■a1,a2寸法

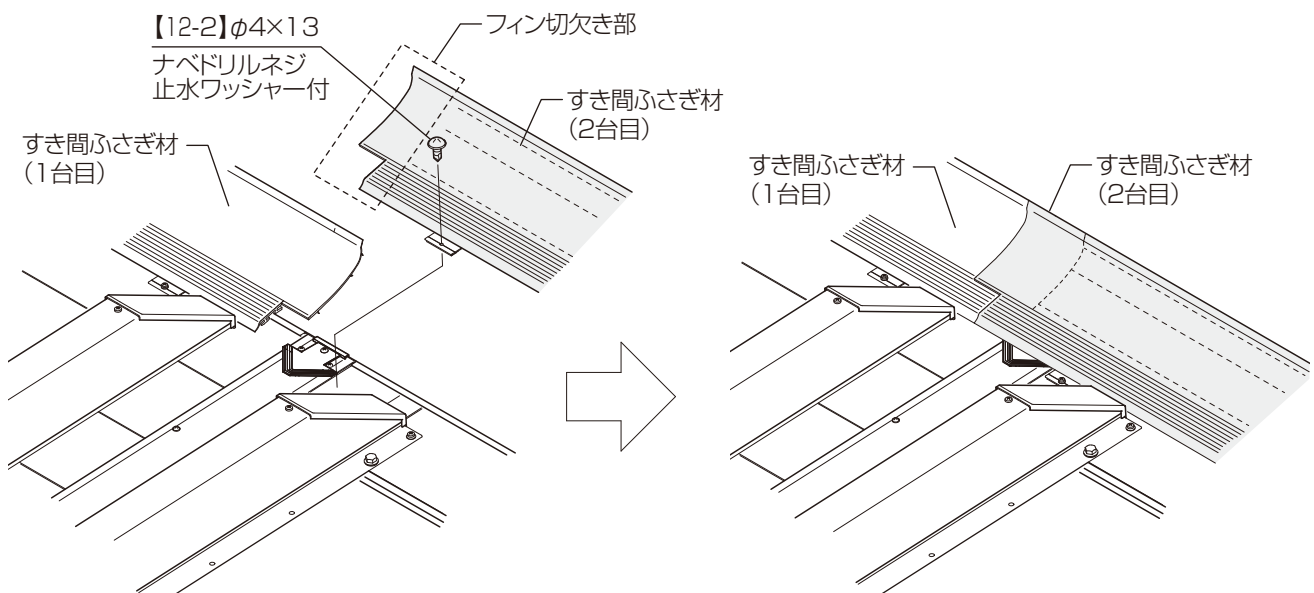
		2台目							
		1.5間		2.0間		2.5間		3.0間	
		a1	a2	a1	a2	a1	a2	a1	a2
1台目	1.5間	243.5	62.5	243.5	62.5	243.5	62.5	62.5	128.5
	2.0間	243.5	62.5	243.5	62.5	243.5	62.5	62.5	128.5
	2.5間	128.5	62.5	128.5	62.5	128.5	62.5	62.5	128.5
	3.0間	128.5	62.5	128.5	62.5	128.5	62.5	62.5	62.5

【例】 1台目：2.0間 2台目：1.5間の場合

a1 = 243.5 a2 = 62.5

2 すき間ふさぎ材の取付け

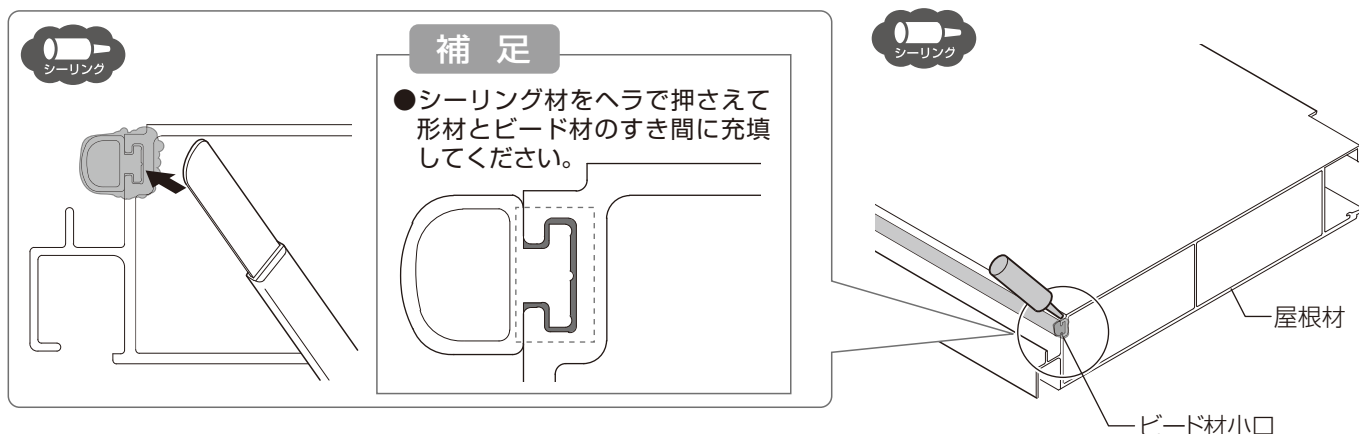
- ① 隙間ふさぎ材(1台目)をP.25を確認のうえ取り付けてください。
- ② 前枠(2台目)の下穴に合せてすき間ふさぎ材を取り付けてください。
- ③ すき間ふさぎ材の連結部を重ね合わせてください。



基本タイプの施工
P.25も参照してください。

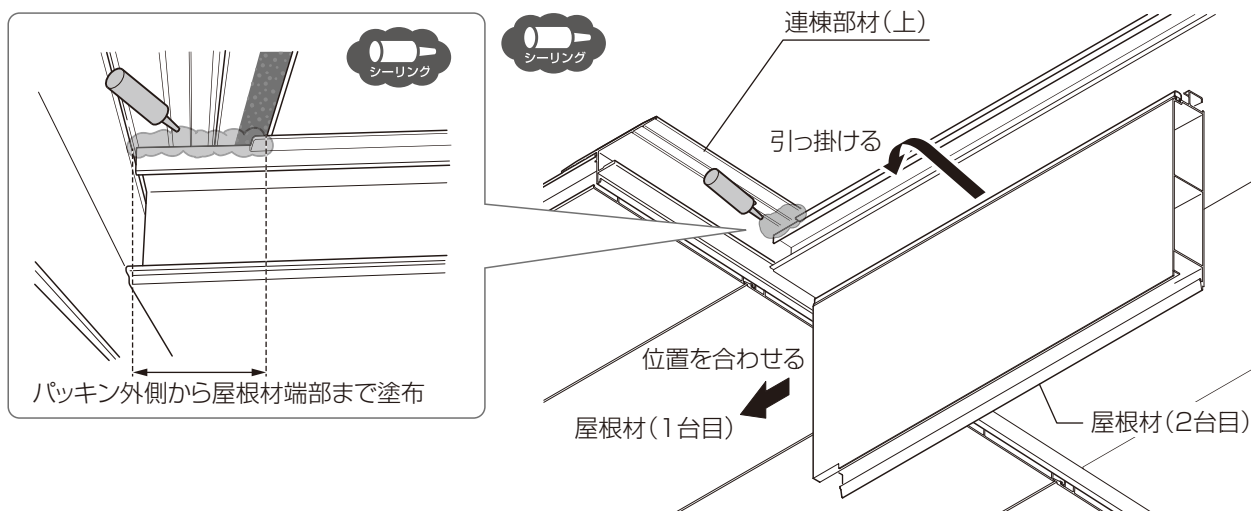
5 屋根部(2台目)の取付け

①連棟側のビード材小口にシーリングしてください。



②先に取付けた屋根材の切り欠き部にシーリングしてください。

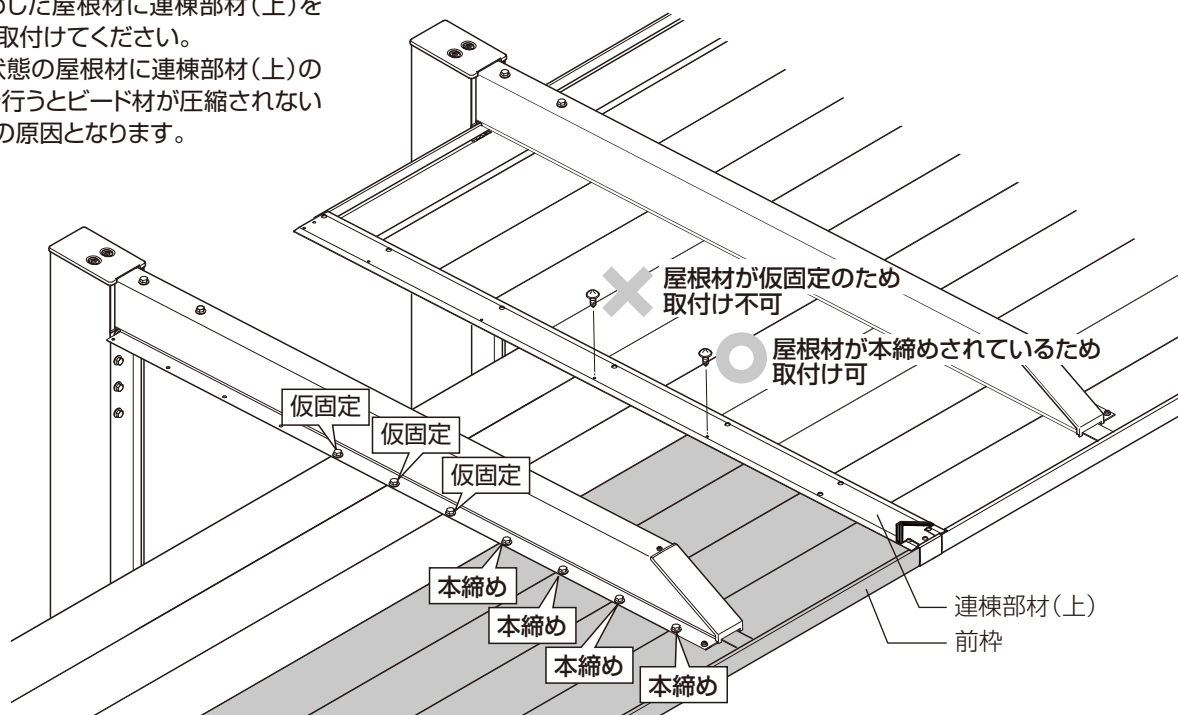
③屋根材を引っ掛けて、先に取付けた屋根材と端部の位置を合わせてください。



④基本タイプ**6**～**7**(P.24～28)の施工方法を参照し、前枠～屋根材を取付けながら【11-2】で連棟部材を取付けてください。

お願い

- 梁に本締めした屋根材に連棟部材(上)を【11-2】で取付けてください。
仮固定の状態の屋根材に連棟部材(上)のネジ固定を行うとビード材が圧縮されないため、漏水の原因となります。

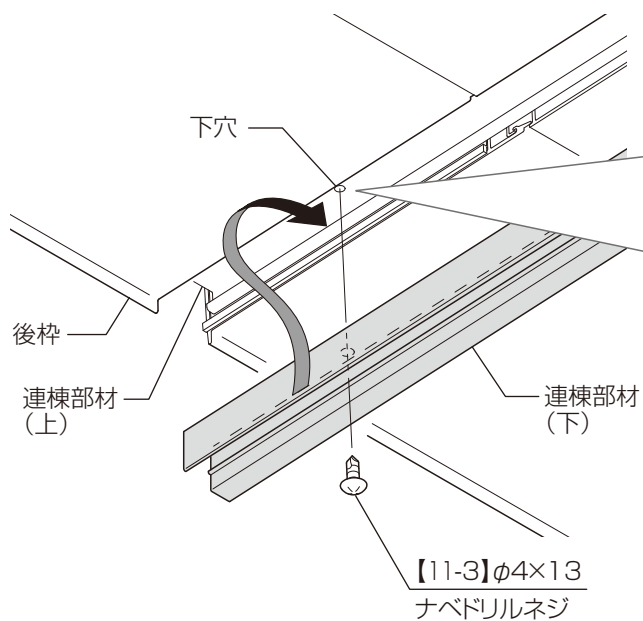
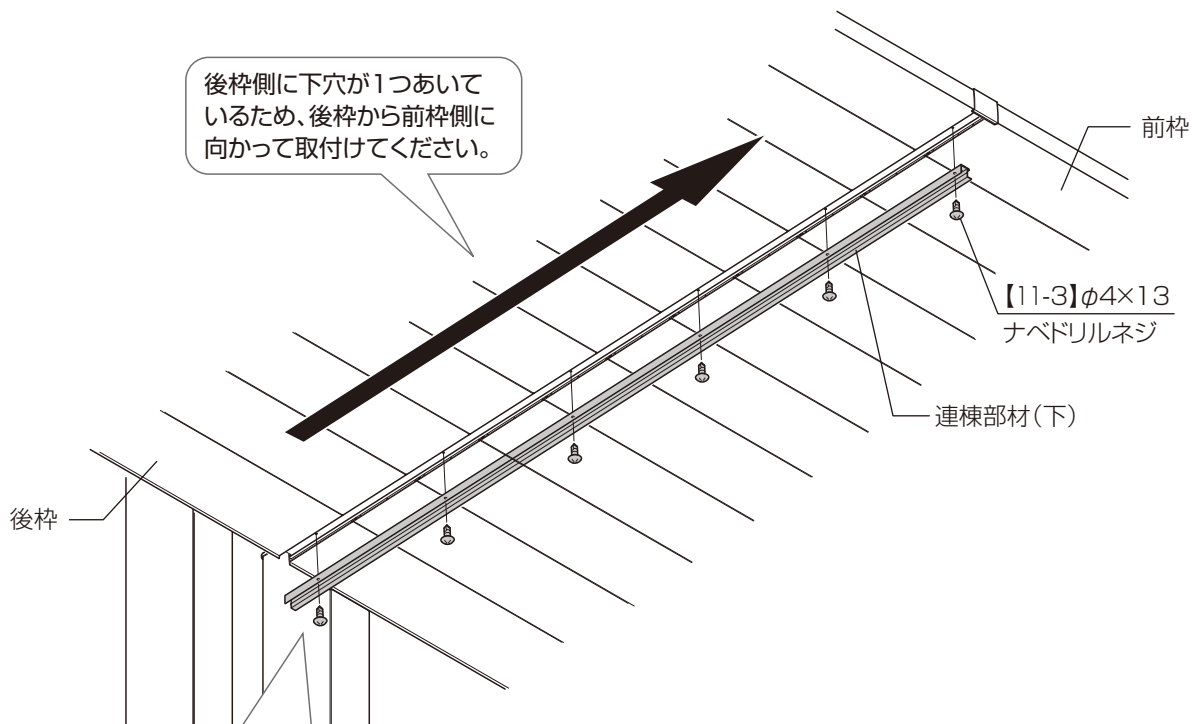


⑤以降の手順は、基本タイプ**8**～**9**の施工方法を参照して取り付けてください。

6 連棟部材の取付け

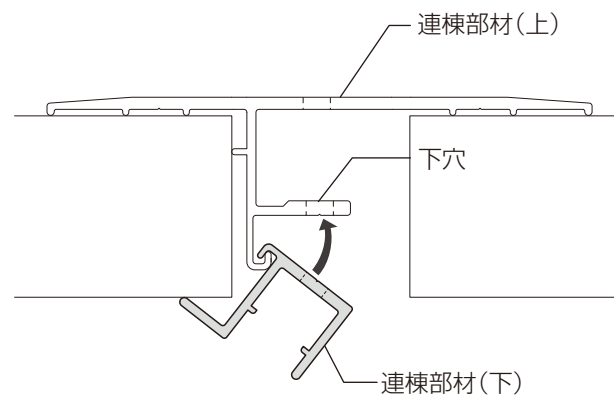
1 連棟部材(下)の取付け

①連棟部材(下)を連棟部材(上)に【11-3】で取付けてください。



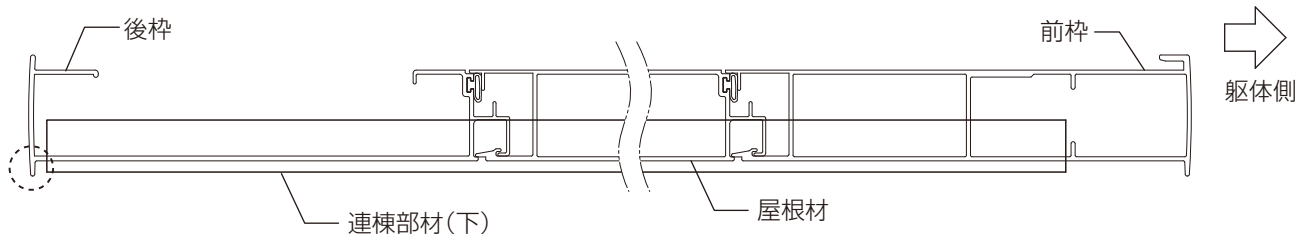
お願い

後枠側の連棟部材(上)と連棟部材(下)の穴を合わせて取付けてください。
(連棟部材(上)の後枠側に下穴が1つあります。)



補 足

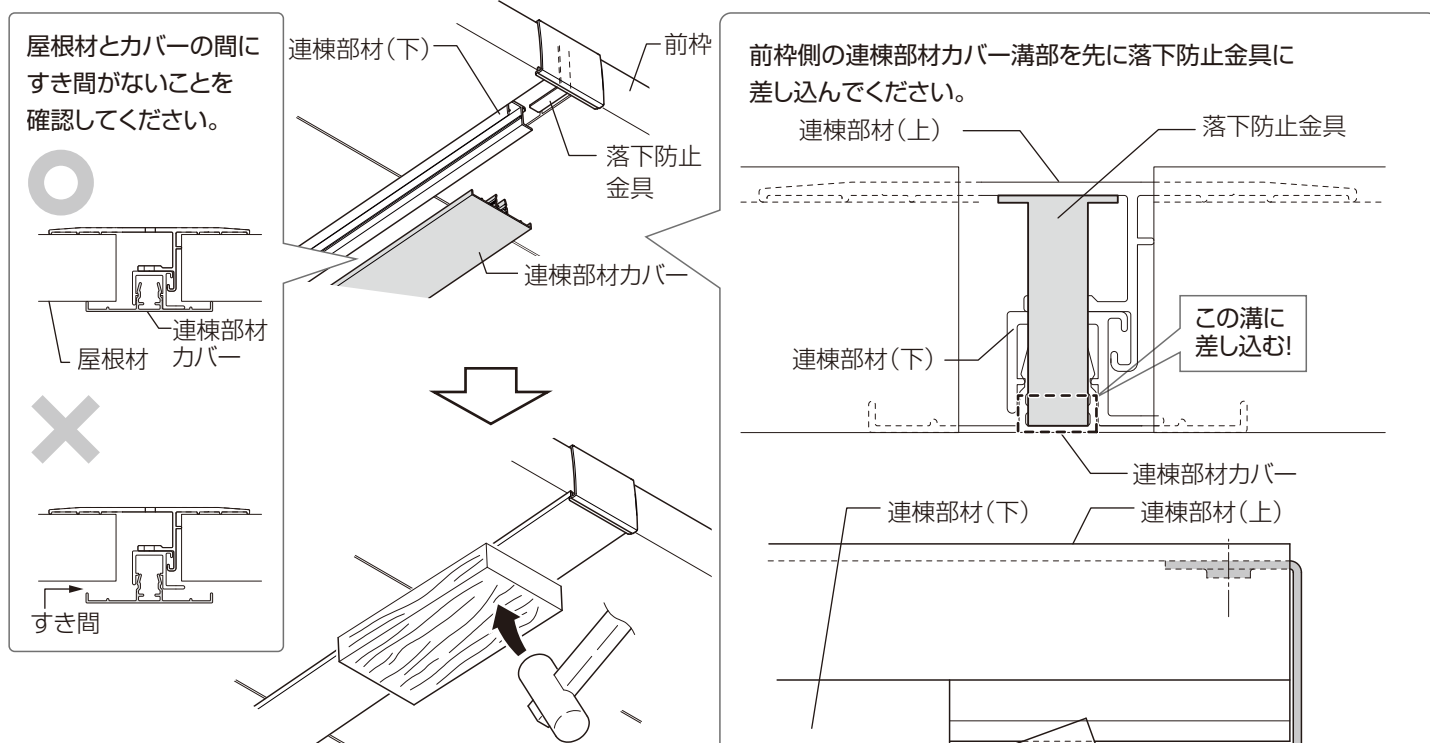
連棟部材(下)取付後に後枠との間にすき間があることを確認してください。
すき間が無いと連結カバーが取りつきません。



2 連棟部材カバーの取付け

①連棟部材カバーを連棟部材(下)に取付けてください。

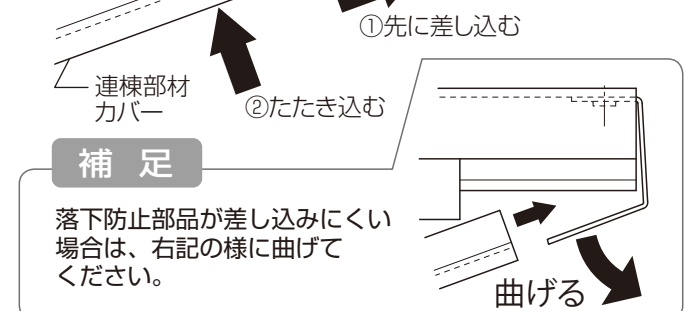
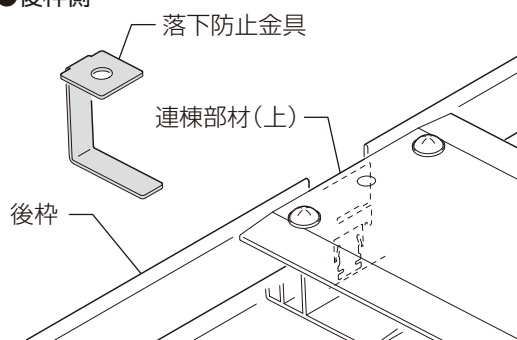
※先に前枠側の落下防止金具に連棟部材カバーの溝部を差し込んでから取付けてください。



3 落下防止金具の取付け

①後枠側に落下防止金具を連棟部材に差し込んでください。

●後枠側



4 連結カバーの取付け

①連棟部材(上)の端部と加工穴にシーリングをしてください。

②連結カバーを【11-1】で取付けてください。

③後枠と連結カバーの接合部にシーリングをしてください。

●後枠側



後枠

【11-1】φ5×10
トラスタッピンネジ3種

連結カバー

後枠

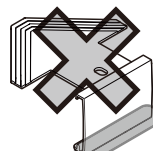


連結カバー

後枠

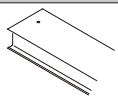
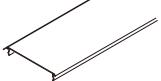
お願い

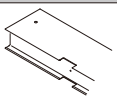
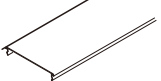
右図で囲った部分にはシーリングをしないでください。

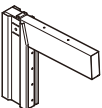


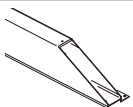
梱包明細表

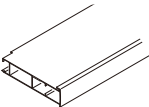
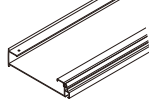
※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

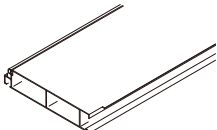
【1】 柱セット		員数
名称	略図	1本入
柱		1
柱カバー		1

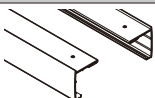
【2】 柱セット (排水用)		員数
名称	略図	1本入
柱(排水用)		1
柱カバー(排水用)		1

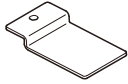
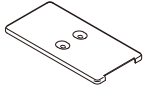
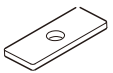
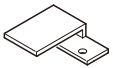
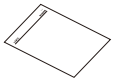
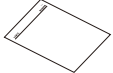
【3】 ブラケットセット		員数
名称	略図	2本入
ブラケット		2

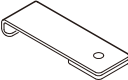
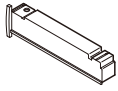
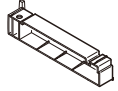
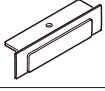
【4】 梁セット		員数
名称	略図	2本入
梁		左右各1

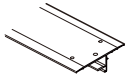
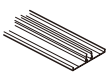
【5】 前後枠セット		員数
名称	略図	
前枠		1
後枠		1

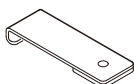
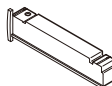
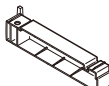
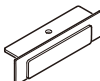
【6】 屋根材セット		員数	
名称	略図	2本入	3本入
屋根材		2	3

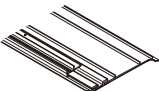
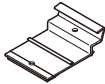
【7】 側枠セット		員数
名称	略図	
側枠		左右各1

【8】 フレーム組立部品セット		員数			
名称	略図	4尺	5尺	6尺	7尺
前枠施工補助金具		2	2	2	2
柱キャップ		2	2	2	2
梁キャップ		2	2	2	2
裏板		13 (予備含む)	17 (予備含む)	21 (予備含む)	25 (予備含む)
後枠取付け金具L		1	1	1	1
後枠取付け金具R		1	1	1	1
排水部品A		1	1	1	1
排水部品B		1	1	1	1
排水部品C-1		1	1	1	1
排水部品C-2		1	1	1	1
柱すき間ふさぎ部品		1	1	1	1
柱すき間ふさぎ部品 (排水)		1	1	1	1
φ8×200アンカー棒		2	2	2	2
取付説明書		1	1	1	1
取扱説明書		1	1	1	1
【8-1】M6×20 六角ボルト 緩み止め止水ワッシャー付		13 (予備含む)	17 (予備含む)	21 (予備含む)	25 (予備含む)
【8-2】M8×30 六角ボルト 緩み止め止水ワッシャー付		14	14	14	14
【8-3】φ5×20 トラスタッピンネジ3種		8	8	8	8
【8-4】φ5×10 トラスタッピンネジ3種		2	2	2	2
【8-5】φ4×13 ナベドリルネジ 止水ワッシャー付		2	2	2	2
【8-6】φ4×13 ナベドリルネジ		2	2	2	2

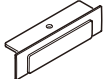
【9】 屋根組立部品セット		員数
名称	略図	
後枠固定金具		4
前枠コーナーキャップ L [部品番号]632070		1
前枠コーナーキャップ R [部品番号]632071		1
後枠コーナーキャップ L		1
後枠コーナーキャップ R		1
集水部品		1
雨樋穴ふさぎキャップ		1
水下ブロック L		1
水下ブロック R		1
【9-1】φ5×10 トラスタッピンネジ3種		2
【9-2】φ4×13 ナベドリルネジ 止水ワッシャー付		21 (予備含む)

【10】 連棟部材セット		員数
名称	略図	
連棟部材(上)		1
連棟部材(下)		1
連棟部材カバー		1

【11】 連棟用屋根組立部品セット		員数
名称	略図	
後枠固定金具		4
連結カバー(連棟用)		2
落下防止金具(連棟用)		2
後枠コーナーキャップ L		1
後枠コーナーキャップ R		1
集水部品		1
雨樋穴ふさぎキャップ		1
【11-1】φ5×10 トラスタッピンネジ3種		4
【11-2】φ4×13ナベ ドリルネジ止水ワッシャー付		21
【11-3】φ4×13 ナベドリルネジ		7

【12】 躯体すき間ふさぎ材セット(オプション)		員数			
名称	略図	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
すき間ふさぎ材		1	1	1	1
すき間ふさぎ材 取付金具		4	5	6	7
【12-1】φ4×6 ナベタッピンネジ3種		4	5	6	7
【12-2】φ4×13 ナベドリルネジ 止水ワッシャー付		4	5	6	7

【13】 雨樋アタッチセット (オプション)		員数
名称	略図	
雨樋アタッチメント (φ40接続用)		1
接着剤		1

【14】 柱移動部品セット (オプション)		員数
名称	略図	
雨樋穴ふさぎキャップ		1
【14-1】φ5×10 トラスタッピンネジ3種		1

【15】 穴ふさぎシールセット(オプション)		員数
名称	略図	
穴ふさぎシール (10枚入)		1